

1 1 生涯學習部

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	社会教育事務		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹					
			課	社会教育課							
			係	社会教育係	電話	内線2259					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
中項目	01	生涯学習									
個別計画（年度）					法令による事業実施義務						
予算科目コード	款	10	項	04	目	01	細目	002	細々目	01	<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり
											<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	社会教育事業全般					社会教育事業の円滑かつ効率的な運営					
	実施内容										
	社会教育課事務経費（社会教育主事嘱託職員報酬等、青少年教育協力者感謝状記念品、事務用消耗品、「昭島の社会教育」冊子製本、社会教育委員会議等の通知郵送、社会教育課用軽自動車燃料・維持管理費などの支払い等、庶務的な事務を行う。					実績・成果					
						社会教育事業の適切・効率的な運営を図った。					
	コスト										
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	3,385	3,445	3,277	3,609	その他特定財源 ・雇用保険料			
	財源内訳	国庫支出金	千円								
都支出金		千円									
地方債		千円									
その他特定財源		千円	12	12	12	12					
一般財源	千円	3,373	3,433	3,265	3,597						
一般職員人件費		千円	2,460	3,280	3,280	2,448					
人工数		人	0.30	0.40	0.40	0.30					
再任用職員人件費		千円	2,460	2,460	2,460	2,080					
人工数		人	0.60	0.60	0.60	0.50					
総事業費		千円	8,305	9,185	9,017	8,137					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由					判断理由					
	社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は1番目である。					昭島市生涯学習推進計画を推進するために、様々な社会教育事業の円滑かつ適切、効率的な運営を継続的に図るためには引き続き直営で行うことが望ましい。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
判断理由					判断理由						
昭島市生涯学習推進計画を推進するために様々な社会教育事業を円滑かつ適切、効率的に行っている。					再任用職員、嘱託職員、臨時職員を採用し、事務の効率化、健全化を図っている。また、事務経費の削減にも日々努力を重ねている。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E			現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持					今後も昭島市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習の推進のために行う社会教育事業が円滑に行われるよう努める。			現状維持		

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署										
	社会教育委員事務		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹							
			課	社会教育課									
			係	社会教育係	電話	内線2259							
	第5次総合基本計画における位置付け			実施根拠<法令、要綱等>									
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）	社会教育法、昭島市社会教育委員設置条例									
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）										
中項目	01	生涯学習	法令による事業実施義務										
個別計画（年度）						<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり							
予算科目コード	款	10	項	04	目	01	細目	003	細々目	01			
事務事業概要	目的												
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>							
	社会教育委員					社会教育委員の活動及び社会教育委員会議の円滑な運営							
	実施内容					実績・成果							
	<p>社会教育委員会議が毎月開催（1回2時間）され、それら会議の開催通知の送付や会議後の会議録の作成、関係資料の作成・配付、情報の提供や委員報酬の支払いなどを行っている。</p> <p>また、社会教育関係の研究大会や東京都市町村社会教育委員連絡協議会に参加し、研修及び情報交換を行うことにより、情報収集やその活用を行っている。</p>					<p>毎月1回開催される社会教育委員会議では、平成25年度は「昭島市における地域の活性化に向けた社会教育について」をテーマに、議長を中心として活発な意見が交わされ、26年9月には建議として教育長に提出した。社会教育関係委員研修会への参加や、他市の動向などを把握するために関係団体が主催する研修等へも参加している。</p>							
	コスト	(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>						
	直接事業費	千円	1,232	1,298	1,208	1,358							
	財源内訳	国庫支出金	千円										
		都支出金	千円										
		地方債	千円										
その他特定財源		千円											
一般財源	千円	1,232	1,298	1,208	1,358								
一般職員人件費	千円	1,640	1,640	1,640	1,632								
人工数	人	0.20	0.20	0.20	0.20								
再任用職員人件費	千円												
人工数	人												
総事業費	千円	2,872	2,938	2,848	2,990								
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3			
	判断理由	社会教育法第15条及び昭島市社会教育委員設置条例に基づき設置されている。				判断理由	社会教育法第15条及び昭島市社会教育委員設置条例に基づき設置されている。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4	④効率性（効率的に実施できたか）				3			
	判断理由	社会教育委員自身が調査研究を重ね、昭島市の社会教育行政に対し、有効な意見を述べている。平成25年度は「昭島市における地域の活性化に向けた社会教育について」をテーマとして意見を交わし、第27期の建議として平成26年度に提出した。				判断理由	月1回の会議も議長を中心にスムーズに進行し、毎回有意義な意見が交わされている。適宜研修等へも参加し、その内容について共有する等、有効かつ効率的に運営されている。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組						
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	市民一人ひとりのニーズに応え、市民が自らの意思で選択し、自由に学ぶことのできる環境を整備するために、今後も社会教育委員自ら行動する会議の運営を継続していくことが重要である。			平成26年4月1日に昭島市社会教育委員設置条例の一部を改正したことに伴い、新たに市民2名を平成26年10月1日の改選時に公募し新体制で進める。								

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署												
	あすを創る運動事業		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹									
			課	社会教育課											
			係	社会教育係	電話	内線2259									
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>									
	政策項目	01	心ゆきかう あぎしま（明るい地域社会の形成）			法令による事業実施義務									
	大項目	01	人と人をつなぐ（コミュニティとネットワークの推進）												
中項目	01	コミュニティ													
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり										
予算科目コード	款	10	項	04	目	01	細目	004	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり				
事務事業概要															
目的						目的									
<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>									
市民						市民が日常生活の中で直面するさまざまな課題や地域活動を通して、学び、課題解決への実践をする。									
実施内容						実績・成果									
<ul style="list-style-type: none"> 多摩川をきれいにする運動の実施 街をきれいにする運動の推進 資源を大切にしている運動の実施 『市民憲章』並びに『青少年とともにあゆむ都市宣言』の推進 あすを創る運動実践協力者の表彰 あすを創る運動関係研修会への参加 昭島市民憲章看板の破損箇所の点検 						<平成25年度の活動実績> ○多摩川一斉清掃 参加者2,652人 ゴミの量2.41トン ○家庭用品バザー 提供物品数 3,569点 売上金 522,660円（一部を社会福祉協議会に寄付） ○門松ステッカー 全戸配布 ○年7回の会議の実施									
コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>								
直接事業費		千円	170	160	160	150									
財源内訳	国庫支出金	千円													
	都支出金	千円													
	地方債	千円													
	その他特定財源	千円													
	一般財源	千円	170	160	160	150									
一般職員人件費		千円	1,640	1,640	1,640	1,632									
人工数		人	0.20	0.20	0.20	0.20									
再任用職員人件費		千円													
人工数		人													
総事業費		千円	1,810	1,800	1,800	1,782									
事務事業評価															
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による															
①優先度（どの程度優先されるべきか）				2		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				1					
判断理由				社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は9番目程度である。				判断理由				自治会連合会や赤十字奉仕団、地域の協力者で構成されている昭島のあすを創る協議会に委託し、市民との連携、協働の促進が図られている。			
③達成度（成果はどの程度あるか）				3		④効率性（効率的に実施できたか）				3					
判断理由				昭島市と共催の多摩川一斉清掃では花の種を配布し、多摩川をきれいにするともに「花と緑にあふれるまちづくり」にも一役買っている。また、家庭用品バザーでは家庭に眠っている不用品を寄付していただき、資源の有効活用並びに福祉団体への寄付など、社会貢献を行っている。				判断理由				自治会連合会や赤十字奉仕団、地域の協力者と連携し、あすを創る運動の推進を図っている。			
課題と今後の方向性		D		現状における課題				平成27年度予算編成における具体的な取組							
今後の方向性（以下より選択）		D		現在、市が事務局として関わっているが、昭島のあすを創る協議会が自立し運営していくことが望ましい。				昭島のあすを創る協議会は50年にわたり生活改善、環境美化などの活動に取り組んできた。昨今、新たな市民地域団体がレベルの高い活動を行っており、あすを創る協議会の目標は他の団体の自主的な活動の中で十分に達成できると考えられることから、平成26年度の総会において、26年中に活動を終了することとしたため、あすを創る運動事業は廃止とする。							
A 成果拡大に向けて実施方法を見直し															
B コスト改善に向けて実施方法を見直し															
C 抜本的な見直し															
D 縮小・廃止															
E 現状を維持															

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	社会教育関係団体指導育成事業		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹					
			課	社会教育課							
			係	社会教育係	電話	内線2259					
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）		社会教育関係団体登録要綱、青少年教育協力者感謝状贈呈要綱、子ども会活動費補助金交付要綱、社会教育関係団体補助金交付要綱						
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	01	生涯学習									
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり						
予算科目コード	款	10	項	04	目	01	細目	005	細々目	01	
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	社会教育関係団体等					市民の自主的な社会教育活動を促進し、市の社会教育の発展を図る。					
	実施内容										
	社会教育関係団体等の指導者等を対象とした研修会の開催。社会教育関係団体等への補助金の交付。社会教育関係団体の登録、更新事務。					実績・成果 平成25年度は社会教育関係団体の指導者、子ども会のリーダー等を対象とした研修会を開催し、35名が参加した。また、子ども会についての意見交換会を開催し、43名が参加した。補助金の交付は子ども会連絡会2団体、単子子ども会46団体、社会教育関係団体等6団体に交付し、各団体の継続的かつ活発な活動の一助となっている。					
	コスト										
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	1,599	1,711	1,203	1,654				
	財源内訳	国庫支出金		千円							
		都支出金		千円							
地方債		千円									
その他特定財源		千円									
一般財源		千円	1,599	1,711	1,203	1,654					
一般職員人件費		千円	820	820	820	816					
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10					
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	2,419	2,531	2,023	2,470					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由 社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は5番目程度である。					判断理由 補助金の交付は民間やNPOに任せるのではなく、直営が妥当であるが、研修会、社会教育関係団体の登録業務は民間委託も不可能ではない。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			4		
	判断理由 社会教育関係団体等の指導者研修会への出席で得られる今後の活動へのヒントや、補助金の交付により、自主財源だけでは実現できない事業を展開している。社会教育関係団体の登録制度は市民がサークル活動に参加したいとき等の参考として活用されている。					判断理由 研修会を委託することは可能であるが、年間1回から2回開催する研修会を委託することは、あまり効率的ではなく、現在の直営方式が妥当である。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		○研修会に参加する指導者が少なく、費用対効果が低い。 ○社会教育関係団体の活動内容や会員の年齢層が多岐にわたることから研修会の内容がしぼりにくい。 ○補助金額を適切な金額に設定する必要がある。			補助金の削減に努める。					

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署				
	生涯学習推進事業		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹	
			課	社会教育課			
			係	社会教育係	電話	内線2259	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>		
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）		昭島市生涯学習校区協議会補助金交付要綱		
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）		法令による事業実施義務			
中項目	01	生涯学習		<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり			
個別計画（年度）							
予算科目コード	款	10	項	04	目	01	
				細目	006	細々目	
						01	
事務事業概要	目的		<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>				
	<対象は誰、何か>		市民				
	実施内容		実績・成果				
	パソコンの基本的な操作（文字入力やマウス操作など）ができる50歳以上の中高年を対象に、ワードの基礎的な機能を学習し、実際に地域の活動等で役に立つ技術を習得することで、中高年の地域生活をより充実したものにしていくことを目指す。 また、小学校区に根ざした住民による生涯学習を推進するため、生涯学習校区協議会を設置し、必要な情報の提供や適切な運営の為の指導や助言を行う。		福島会館において、3日間実施し、延べ40名の参加があった。講習の内容は「ワードの基礎と応用」でテキストに沿ってチラシの作成を行った。また、インターネットにも触れた。講習後のアンケート結果から概ね満足されていたようである。 つ北小地区・いきいき楽習協議会、田中小校区生涯学習住民協議会がそれぞれ特色のある事業を展開している。拝島第一小学校区地域協議会は平成25年度の事業は実施されなかった。平成25年度の参加延べ人数はつ北小地区・いきいき楽習協議会が161名、田中小校区生涯学習住民協議会が300名となっている。				
	コスト	(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>
	直接事業費	千円	56	781	431	796	都支出金 ・高齢社会対策区市町村包括補助金 その他特定財源 ・各種講習会受講料
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都支出金	千円	17	23	19	
		地方債	千円				
		その他特定財源	千円	13	13	12	
一般職員人件費	千円	820	820	1,640	1,632		
人工数	人	0.10	0.10	0.20	0.20		
再任用職員人件費	千円						
人工数	人						
総事業費	千円	876	1,601	2,071	2,428		
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による						
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3	
	判断理由	社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は6番目程度である。				判断理由	
					パソコン教室ではパソコンインストラクターの資格を持つ外部講師が指導し、受講者からは講師料の一部を受講料として徴収している。また、講師の補助としてボランティアを活用している。校区協議会は、地域の既存の団体と連携しながら特色ある事業を展開し、住民同士のつながりを育てている。		
③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		4		
判断理由	パソコン教室のアンケート結果からは、受講者が期待していたことは概ね達成されていて、満足していただいているようである。校区協議会は、地域の中で、生活環境・年齢等により、普段の生活の中では交流することが少ない地域住民とも交流ができ、また地域の様々な団体と連携することで、生涯学習活動が広がっていくことが期待される。小学校区ごとに特色ある事業を展開し、多くの地域住民が参加している。				判断理由		
				パソコン教室は講師の他にパソコンの知識に精通したボランティアに協力していただき、受講者の指導にあたっている。校区協議会は地域における生涯学習推進のため、地域住民が校区協議会の一員となり、企画運営することで独自の事業を展開している。事業によっては受益者負担の観点から参加費も徴収している。			
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E	現状における課題		平成27年度予算編成における具体的な取組		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		○新たな校区協議会の設置に至っていない。 ○地域により既存の団体との関係など、事情も異なることから設置に向けての調整が難しい。		現状維持		

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	成人式開催事業		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹						
			課	社会教育課								
			係	社会教育係	電話	内線2259						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			昭島市成人式要綱						
大項目	02	ともにあゆむ（青少年の育成）										
中項目	01	青少年の健全育成			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード	款	10	項	04	目	01	細目	007	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	当該年度に20歳になる新成人						人生の節目として新しい門出を祝福し、成人としての自覚を促し、昭島市民であることを再確認する。					
	実施内容											
	成人の日にフォレスト・イン昭和館 シルバンホールにおいて、式典及び茶話会を開催している。茶話会には中学校の恩師を招待し、現在の中学校の映像を会場で上映するなど、新成人の実行委員による柔軟な運営が行われている。成人式当日は職員のボランティアを活用し、会場整理にあたった。						実績・成果 平成25年度の出席者は、対象者、男性537人、女性531人に対し男性402人、女性390人、合計792人となっている。出席率は男性74.86%、女性73.45%、合計74.16%と、多摩地区では高い出席率を誇っている。 会場に職員ボランティアを配置し会場整理を実施した。式典終了後の混雑解消に大いに役立った。					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	2,237	2,240	2,311	2,395					
	財源内訳	国庫支出金		千円								
		都支出金		千円								
		地方債		千円								
その他特定財源		千円										
一般財源		千円	2,237	2,240	2,311	2,395						
一般職員人件費		千円	2,460	1,640	1,640	1,632						
人工数		人	0.30	0.20	0.20	0.20						
再任用職員人件費		千円										
人工数		人										
総事業費		千円	4,697	3,880	3,951	4,027						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由 社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は4番目程度である。						判断理由 昭島の未来を託す新成人を祝福し、昭島市民であることを再確認し、その若い力をこれからの昭島に還元していただけるよう、新成人が一堂に会する機会をつくるため、ホテルでの式典は本市の特徴であり、妥当であると考え。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）				5		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
	判断理由 中学校卒業以降は友人同士顔を合わせることはあっても、学年全体、恩師などが一堂に会する機会は少ない。新成人として社会に羽ばたくこの時期に、子供時代を振り返り、地域の良さを再確認し、自分を育ててくれた「あきしま」にこれから何が出来るか、考えていただくためには非常に有効であり、毎年高い出席率を誇っている。						判断理由 新成人による実行委員会形式の運営と、フォレスト・イン昭和館を利用することにより、従事する職員の削減と、高い出席率を実現している。式典当日に職員ボランティアを配置し会場整理を行ったことにより、式典終了後の混雑解消に効果が見られた。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題 新成人を対象とした成人式実行委員会委員の応募者は9人であった。広報やホームページ、市内施設へのポスター等の掲示などは引き続き行い、多方面への声かけも行ってきたい。 また、式典終了後のホテル敷地内の早期の混雑解消に向け、引き続き改善を行う。				平成27年度予算編成における具体的な取組 職員ボランティアの活用により、警備委託の縮小を検討する。			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持											

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	土曜地域ふれあい事業		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹						
			課	社会教育課								
			係	社会教育係	電話	内線2259						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あぎしま（教育・文化・スポーツの充実）			昭島市生涯学習援助協力者活用要綱						
大項目	02	ともにあゆむ（青少年の育成）										
中項目	01	青少年の健全育成			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード	款	10	項	04	目	01	細目	008	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>						
	小学生、中学生、保護者、ボランティア講師					子どもたちの居場所づくりと生涯学習の推進。楽しみながら異世代間や異年齢の子ども同士の交流による人間関係の形成。						
	実施内容					実績・成果						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 囲碁教室 小・中学生を対象に登録ボランティアである講師が、囲碁についての指導を行う。 ・ 陶芸教室 小・中学生を対象とした教室を2教室、小・中学生の親子を対象とした教室を1教室実施しいずれも登録ボランティアが陶芸の実技指導を行い陶芸作品を制作。 ・ 作陶展 市役所ロビーで、陶芸教室参加者の作品を展示 					社会教育関係団体や地域の市民ボランティアによる講師は、子どもや保護者などの異世代のふれあいを通じていきいきとし、土曜地域ふれあい事業が生きがいにもなっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 囲碁教室 夏休みをのぞく6月から11月の第1,3,5土曜日 延べ参加者 小学生293名、ボランティア講師123名 ・ 陶芸教室 7、8月と10月の土曜日 延べ参加者 小学生60名、保護者14名、ボランティア講師39名 ・ 作陶展 市役所ロビーで、指導にあたった講師の先生方の日頃の作品と陶芸教室参加者の作品を展示 						
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	59	63	52	63	その他特定財源 ・ 各種講習会受講料				
	財源内訳	国庫支出金	千円									
		都支出金	千円									
		地方債	千円									
その他特定財源		千円	12	18	15	22						
一般財源	千円	47	45	37	41							
一般職員人件費		千円	1,640	1,640	1,640	816						
人工数		人	0.20	0.20	0.20	0.10						
再任用職員人件費		千円			410	832						
人工数		人			0.10	0.20						
総事業費		千円	1,699	1,703	2,102	1,711						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3				
	判断理由	社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は7番目程度である。				判断理由	囲碁教室も陶芸教室も講師はボランティアで運営しており、地域住民の技能や技術を生かす場として、実施している。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3				
	判断理由	囲碁をすることにより集中力、創造力、豊かな発想、礼儀正しさ、勝ち負けによる喜び・悲しみ・葛藤が人格育成に必要な感情や心をコントロールする訓練となり、子どもたちを成長させた。陶芸を通して、物づくりの体験、喜びを味わうことができた。子ども同士異世代間の交流、地域住民と子どもの交流が図れ、アンケートの結果も、楽しかったのでまたしてみたいとの回答が多くあった。				判断理由	囲碁教室は、碁盤なども揃っているため、経費は資料代程度の支出で実施できた。陶芸教室は、道具については概ね整っており、色絵の具、粘土などの消耗品の購入のみで実施できた。また、どちらも講師はボランティア講師を活用した。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E	現状における課題				平成27年度予算編成における具体的な取組					
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		ボランティア講師も高齢化しているため、新たな講師の獲得が必要。				現状維持					

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	文化財保護審議会事務		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹						
			課	社会教育課								
			係	文化財担当	電話	2259						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			文化財保護法、昭島市文化財保護条例、昭島市文化財保存審議会条例、会議規則						
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	05	文化財			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）					<input checked="" type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード		款	10	項	04	目	03	細目	001	細々目	01	<input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	昭島市文化財保護審議会						昭島市における文化財の保存及び活用に関する必要事項の調査・審議を行う。					
	実施内容											
	昭島市教育委員会から文化財の指定・解除等の諮問及び文化財行政の運営等に関し審議、答申及び文化財行政に関する指導・助言を行う。 委員8人（条例上10人以内）、月額報酬11,000円						実績・成果 文化財の保護・保存及び活用に関する必要事項の調査・審議をするために設置された付属機関であり、教育委員会の諮問により市指定文化財23件の指定及び都指定文化財10件に意見具申並びに「アキシマクジラ」化石の生存年代の変更、市指定天然記念物「郷地の大桑」（昭和46年指定）の指定解除（平成24年度）答申など実績は顕著なものとなっている。 また、平成25年度は、『アキシマクジラ』の調査・研究の状況を視察実施した。					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	1,195	1,208	1,071	1,187					
	財源内訳	国庫支出金		千円								
		都支出金		千円								
		地方債		千円								
		その他特定財源		千円								
	一般財源		千円	1,195	1,208	1,071	1,187					
	一般職員人件費		千円	1,640	1,640	1,640	1,632					
	人工数		人	0.20	0.20	0.20	0.20					
	再任用職員人件費		千円									
人工数		人										
総事業費		千円	2,835	2,848	2,711	2,819						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由 文化財保護法の規定に基づき、文化財保護審議会条例に定められている。						判断理由 文化財に係る様々な分野の専門知識を持つ方々で構成され、年6回の審議会を開催。市の責務となる文化財の保護・保存及び活用を行ううえで、専門職（学芸員）の設置がされていない中、審議を行い指導・助言等をいただいている。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
	判断理由 教育委員会の諮問により指定文化財23件、都指定文化財10件に意見具申並びに「アキシマクジラ」の生存年代の変更、平成24年度には、市指定天然記念物「郷地の大桑」の指定解除の答申などの実績は顕著である。 また、文化財めぐり、文化財ボランティアガイド養成講座等に対して講師として対応している。						判断理由 昭島市特別職の職員報酬及び費用弁償に関する条例に基づき委員報酬（月額報酬11,000円）を支出している。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題 専門職（学芸員）が設置されていないなか、審議員の役割は、重要である。				平成27年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し											
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し											
	C 抜本的な見直し											
	D 縮小・廃止											
E 現状を維持												

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	文化財保護事業		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹					
			課	社会教育課							
			係	文化財担当	電話	2259					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			文化財保護法、昭島市文化財保護条例、同施行規則、昭島市文化財保護事業費補助金交付要綱					
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
中項目	05	文化財			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）					<input checked="" type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり						
予算科目コード	款	10	項	04	目	03	細目	002	細々目	01	<input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民及び文化財の所有者及び管理者、保存者（保持者）					文化財の保護・保存をするとともに多くの方へ文化財を公開することによって文化財保護思想の高揚・普及・啓発を図る。					
	実施内容										
	文化財めぐりを開催し、郷土の歴史、文化、自然に触れてもらい文化財の保護、保存の重要性について啓発するとともに、シニア世代の活力を活用し、文化財ボランティアガイドとして、郷土資料室の管理等の実践を行う。 また、指定文化財の保護・保存を行うための修理に係る事業補助及び後継者育成に係る補助を行う。					実績・成果 ・「アキシマクシラ」親子見学会：7月31日 参加者9組 ・まが玉づくり教室：8月15日 参加者14名 ・文化財めぐり 11月10日：拝島地区コース 参加者23名 3月15日：多摩川コース 参加者24名 ・文化財保存修理 指定有形民俗文化財「拝島日吉神社祭礼加美町屋台」人形等修理 都指定無形民俗文化財「中神の獅子舞」獅子頭の修理					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	990	7,765	7,532	4,040	都支出金 ・市町村総合交付金 その他特定財源 ・各種印刷物頒布代金 ・各種講習会等負担金			
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円	336		3,490					
		地方債	千円								
その他特定財源		千円	116	221	164	230					
一般財源		千円	538	7,544	3,878	3,810					
一般職員人件費	千円	2,460	2,460	2,460	2,448						
人工数	人	0.30	0.30	0.30	0.30						
再任用職員人件費	千円	1,640	1,230	1,230	1,248						
人工数	人	0.40	0.30	0.30	0.30						
総事業費	千円	5,090	11,455	11,222	7,736						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			4			
	判断理由	条例で定められている。				判断理由	市指定有形民俗文化財「拝島日吉神社祭礼加美町屋台」人形等修理、都指定無形民俗文化財「中神の獅子舞」獅子頭の修理や、市指定無形民俗文化財「拝島日吉神社祭礼囃子」「福島ばやし」など、古くから遺るものであり後継者育成等は、市と文化財所有者、管理者及び保存団体（保持者）等と連携し、後世に伝えていく必要がある。 また、文化財の保護・保存だけではなく、公開活用等を行うことによって意識高揚・啓発がはかることが必要。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3	④効率性（効率的に実施できたか）			3			
	判断理由	文化財めぐり等の開催時には、参加希望者も多くニーズは高い。郷土の歴史、文化に触れることによって、生涯学習（自主）を始めるきっかけをつくる役割を担っている。 また、文化財ボランティアガイドを活用して文化財めぐりや、郷土資料室の開室運営等をおして、市民が郷土の歴史、文化を啓発することが図れる。				判断理由	文化財めぐりは、中高年齢層の参加者が多いため時間、距離等を考えたコース設定を変更したことにより参加希望者が増加してきている。 また講師も文化財保護審議会の委員に依頼し開催し、養成してきた文化ボランティアガイドを活用している。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持				・有形民俗文化財については祭礼以外の公開事業（郷土芸能まつり等）によって屋台等の劣化が進む恐れがある。 ・文化財ボランティアガイドについては、体調等によって辞退される方がいるので、今後新規に増員する必要がある。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	埋蔵文化財発掘調査事務		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹						
			課	社会教育課								
			係	文化財担当	電話	2259						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）	文化財保護法、昭島市文化財保護条例、同施行規則								
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）	保護条例、同施行規則								
中項目	05	文化財	法令による事業実施義務									
個別計画（年度）					<input checked="" type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード	款	10	項	04	目	03	細目	003	細々目	01	<input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>						
	市内埋蔵文化財周知の包蔵地内の開発事業者等					埋蔵文化財は国民共有の貴重な歴史遺産であり将来の文化向上・発展の基礎をなすものと位置付けられて、開発行為等による遺跡の破壊行為から埋蔵文化財を保護し、後世に伝えるため記録保存等をする。						
	実施内容					実績・成果						
	開発事業者等から包蔵地の確認、発掘届を受理し、都教育委員会に対して進達する。 調査にあつては、事業者等と調査日の日程調整等をし、調査指導員の指導の下に、作業員、重機等の手配の下に確認調査を実施する。重要な遺構等が発見された場合は、事業者等と協議の上、事業者負担で、本調査を実施、調査報告書等の作成発行する。 国・都の補助金事務も併う。					高度経済成長期に入り、乱開発による埋蔵文化財の破壊が顕著になる中で、開発行為から埋蔵文化財を保護するために実施された事業で、現在も状況には変化はない。 昭和59年度から国・都の補助金対象事業として本市でも事前調査を実施している。現在でもその重要性については変わらない。これまでの発掘調査で、林ノ上遺跡（史跡：拜島式土器発掘跡）、上川原遺跡出土の丸底深鉢土器（有形文化財）、史跡浄土古墳、経塚下遺跡、大神古墳等の出土遺物（有形文化財）、また、当時包蔵地以外の場所から発見された、獣脚付有蓋短頸壺一括（都指定有形文化財）については全国的にも数例しかない文化財になっている。						
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	5,712	886	383	844	国庫支出金				
	財源内訳	国庫支出金	千円	207	400	191	400	・埋蔵文化財発掘調査補助金				
		都支出金	千円	5,349	200	96	200	都支出金				
		地方債	千円					・埋蔵文化財発掘調査補助金				
その他特定財源		千円	0									
一般職員人件費		千円	1,640	2,460	1,640	1,632						
人工数		人	0.20	0.30	0.20	0.20						
再任用職員人件費		千円										
人工数		人										
総事業費		千円	7,352	3,346	2,023	2,476						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3		
	判断理由					判断理由						
	文化財保護法の規定に基づき、条例に定められている。					文化財保護審議会会長に埋蔵文化財発掘調査指導員を委嘱し、発掘調査作業を行っている。 作業については、シルバー人材センターに委託し、使用する重機（掘削機：ホーラー付）を市内業者から借上げ実施している。 国及び都の補助事業であり、事務処理は事務局（社会教育課文化財担当）で行っている。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3	④効率性（効率的に実施できたか）				3		
判断理由					判断理由							
都や市の指定文化財になる遺跡、発掘出土品（土器、石器等）など貴重なものが多い。 宅地開発事業等によって失われつつある中で、調査を行い記録を残し、その地域の歴史の解明の材料となる。					発掘調査指導員謝礼についても発掘調査（確認・試掘調査）時のみに支出しており、文化財保護審議会委員（会長）ということもあり、その他の調査（立会、事前現場確認等）については謝礼を支払っていない。同日に立会調査等が重複する場合は、指導員にお願いし現場を確認していただいている。 専門職（学芸員：考古）の必要性がある。							
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	A		現状における課題				平成27年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	宅地開発行為に対しては、発掘調査以外にも立会という方法があるが、本市には専門職（学芸員）が設置されていないため、職員による立会ができない。専門職（学芸員）又は嘱託の専門職員の配置が必要。調査報告書等の刊行等が可能になる。 文化財保護審議会からも専門職（学芸員）の配置については、指摘を受けている										

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署											
	市史料調査事務		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹								
			課	社会教育課										
			係	文化財担当	電話	2259								
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>								
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			法令による事業実施義務								
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）											
中項目	05	文化財												
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり									
予算科目コード		款	10	項	04	目	03	細目	004	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり		
事務事業概要	目的													
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>							
	市民から寄贈された生活道具、農具などの民具						生活用具、民具等の受入れにより、貴重な文化財を記録・収蔵及び保存し公開等の活用を行う。							
	実施内容													
	寄贈申入れにより、寄贈者宅等を訪問、回収作業をし、品目リストを作成する。用途や時代などについて調査し、採寸、撮影等のデータを調査カードに記録し整理、収蔵保存する。 調査にあたっては、拝島第四小学校内の空教室を利用し、調査整理補助作業員2名で調査・整理にあっている。 寄贈された民具類は、昭和中学校木造校舎、拝島第四小学校内空教室等に収蔵保管している。						実績・成果 民具類の収集については、寄贈の申入れがあって成立するものであり、その年によって数字は変動する。 ・収集点数 平成25年度末現在の収集点数 約24,000点 ・整理点数 平成25年度末現在の整理点数 約23,700点 文化財図書の刊行 ・昭島近代史調査報告書Ⅰ【史料】拝島村警防団本部 防空記録 市史料電子化委託 ・古文書マイクロフィルム複製製作（デジタル化）							
	コスト													
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>						
	直接事業費		千円	435	1,922	2,070	715	その他特定財源 ・各種印刷物頒布代金						
	財源内訳	国庫支出金	千円											
		都支出金	千円											
地方債		千円												
その他特定財源		千円		40	185	50								
一般職員人件費	千円	820	820	820	816									
人工数	人	0.10	0.10	0.10	0.10									
再任用職員人件費	千円	1,640	2,050	2,050	2,080									
人工数	人	0.40	0.50	0.50	0.50									
総事業費	千円	2,895	4,792	4,940	3,611									
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による													
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3				
	判断理由						判断理由							
	条例で定められている。						平成20年度まで民具調査指導員がいたが、現在調査整理補助作業員（2名）で整理作業等を行っている。 寄贈受入れについては、調査指導員が退任前に作成した基準に基づいて行うが、収蔵スペース等の課題もあり苦慮している。							
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3	④効率性（効率的に実施できたか）				3				
判断理由						判断理由								
平成25年度末の収集状況が、約23,600点あり、種類も多種多様なものがあるが、生活用具や農具等、また昭和初期まで盛んにおこなわれていた養蚕に関するものも多く寄贈いただいている。						民具の受入れが行われると、調査整理補助作業員により品目リストや調査カードの作成が行われているが、年間勤務日数35日（420時間）しかないため、寄贈された民具自体の整理に時間がかかる。また通常作業は拝島第四小学校内にある民具資料室で行っているが、受入れ民具の企画によっては、搬入する場所が変わるため事務的効率は落ちる。								
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		A		現状における課題				平成27年度予算編成における具体的な取組					
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		民具調査指導員（専門職：学芸員）が不在のため、寄贈民具類の受入れ判断に苦慮することが多い。収蔵も分散して保管しているがほぼ空きスペースも手狭になり今後も継続して収集・整理を行うには、専門職の配置、収蔵物の保管場所の一括保管等が必要。											

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署							
	郷土資料室管理運営		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹				
			課	社会教育課						
			係	文化財担当	電話	2259				
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）		昭島市郷土資料室の公開に関する要綱					
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
中項目	05	文化財								
個別計画（年度）			<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり							
予算科目コード	款	10	項	04	目	03	細目	005	細々目	01
目的										
<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
市民及び一般見学者					市内で出土（発掘）された埋蔵文化財遺物（土器、石器等）、また市民等から寄贈を受けた民具類など計約1400点を展示、一般に広く公開し、活用を図るとともに、郷土の歴史等文化財保護思想等の高揚・普及・啓発に努める。					
実施内容					実績・成果					
郷土資料室は、現在、昭島市昭和町分室（総務部契約管財課所管）の2階の一角を使用して展示を行っている。 展示内容は、市文化財保護審議会委員等の指導により、原始・古代・中世・近世・民具（生活用具、農耕具、養蚕具、漁労具）を展示し、週3日（水、土、日曜日：正午～午後4時）開室している。なお、管理業務については、シルバー人材センターに委託している。 平成25年度は、夏休みの特別開室の10日間の内、5日間（水、土日曜日を除く）を文化財ボランティアガイドを活用し開室。平成26年度については、8月の開室日の土・日曜日を除く9日間を行う					市内で出土（発掘）された埋蔵文化財遺物（土器、石器等）、また市民等から寄贈を受けた民具類など計約1400点を展示している。 平成14年3月に開設し、平成25年度末で、累計9,600人（平成25年度：936人）の見学者が訪れている。 また、市内の小学校3年、4年生の社会科の授業の一環で見学に訪れる。					
コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
直接事業費		千円	530	555	550	562				
財源内訳	国庫支出金	千円								
	都支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他特定財源	千円								
	一般財源	千円	530	555	550	562				
一般職員人件費		千円	820	820	820	816				
	人工数	人	0.10	0.10	0.10	0.10				
再任用職員人件費		千円								
	人工数	人								
総事業費		千円	1,350	1,375	1,370	1,378				
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			2	
	判断理由	文化財は、保護、保存するだけでなく、活用することが重要であり、埋蔵文化財遺物（土器、石器類等）や民具類の展示により市域において古代から、人の営みがあったことを知ることができる。 また、例年市内小学校数校（平成25年度：7校449人）が、社会科の授業の一環として見学に訪れ、見て、触れるなどの貴重な体験ができる場となっている。				判断理由	現状は、運営管理を委託して開設している。（一部文化財ボランティアガイドが対応） 通常開室が週3日（水、土、日曜日）、特別開室が夏休み期間中10日間、開室日以外に市内小学校が数校、団体見学等に開室している。その場合は、市担当者及び文化財ボランティアガイド（平成25年度から）が対応している。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3		④効率性（効率的に実施できたか）			3	
	判断理由	平成13年度開室以来、約9,600人の入場者数があり年間平均約800人程度。 市民に限らず、市外からの来場者もあり施設（バリアフリー化されていないため）が2階にあるため車イス利用者等から、見学に行けないとの声もある。				判断理由	現況の郷土資料室は、常設展示以外の展示スペースは無く、企画展等の開催が不可能。 また、民具類等の保管場所が併設されて無く、市内数か所に分散して、保管、収納しているため展示品の入れ替えが難しい。			
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	B		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し			現在、委託により管理運営を行っているが、平成25年度は、特別開室の5日間、平成26年度は8月の平日開室（特別開室）9日間を文化財ボランティアガイドを活用し開室する。今後、年間を通して平日（水曜日）の開室については、文化財ボランティアガイド等を活用する検討を行う必要がある。			年間を通して平日（水曜日）の開室については、文化財ボランティアガイド等を活用する。			
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し									
	C 抜本的な見直し									
	D 縮小・廃止									
E 現状を維持										

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	市立会館管理運営		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹						
			課	社会教育課								
			係	社会教育係	電話	内線2259						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あぎしま（教育・文化・スポーツの充実）			昭島市立会館条例、昭島市立会館条例施行規則、昭島市公共施設予約システムの利用登録に関する規則						
大項目	03	「あぎしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）										
中項目	01	生涯学習										
個別計画（年度）						<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり						
予算科目コード		款	10	項	04	目	04	細目	001	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民、団体						誰もが気軽に利用できる市立会館を提供することにより、市民の自主的なグループやサークル、団体の活動を推進し、交流を深め、生涯学習の充実を図る。					
	実施内容						実績・成果					
	市民の生活に根ざした自主的、自発的な学習、文化、レクリエーションの機会と活動の場を提供することを目的として、11館設置している。部屋は集会室、休養室、学習室、音楽室、保育室、多目的室などがあり、会合や趣味、軽スポーツ、調理実習、音楽活動、パソコン講習、個人の学習、読書などに利用されているほか、情報コーナーとして設置された掲示板や雑誌架に置かれた行政資料や市民の活動のパンフレットの利用により市民生活に必要な資料や情報の交換ができる場となっている。25年度は堀向会館で耐震補強工事を、昭和会館、拝島会館は耐震診断（二次診断）を実施した。						25年度は、11会館合計で、延べ31,431団体、351,788人に、趣味や学習の場として利用されている。堀向会館の耐震補強工事は、災害時には地域住民の避難所となる施設として、安全性を確保することができた。					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	103,395	112,797	112,543	121,911	国庫支出金				
	財源内訳	国庫支出金	千円	1,517	7,822	7,174	5,070	・特定防衛施設周辺整備調整交付金				
		都支出金	千円	810	1,200	1,000		・昭和会館耐震診断調査費補助金				
		地方債	千円					・拝島会館耐震診断調査費補助金				
その他特定財源		千円	351	359	274	327	都支出金					
一般職員人件費	千円	27,880	19,680	19,680	21,216	・市町村総合交付金						
人工数	人	3.40	2.40	2.40	2.60	その他特定財源						
再任用職員人件費	千円	410	410	1,230	416	・庁内等光熱水費						
人工数	人	0.10	0.10	0.30	0.10	・複写機利用料						
総事業費	千円	131,685	132,887	133,453	143,543	・電話料						
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4			②妥当性（実施方法は妥当であるか）			1		
	判断理由						判断理由					
	社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は3番目程度である。						会館の運営については、武蔵野会館のみが武蔵野会館運営協議会で運営している。今後は、他の10館も地域で運営することを検討していくべきであると考え。また、受益者負担については、有料とすることも検討すべきである。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4			④効率性（効率的に実施できたか）			3		
判断理由						判断理由						
25年度は11会館合計で延べ31,431団体、351,788人に趣味や学習の場として利用された。						昼間の勤務は再雇用職員となっているが、再雇用職員の不足により配置がなかったため臨時職員を活用し、夜間は一般選考の管理員を配置し人件費を抑制している。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E				現状における課題				平成27年度予算編成における具体的な取組	
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		現状における課題 ○受益者負担の観点から有料化とすることが望ましいが、無料化維持を要望する声が多い。 ○地域住民による運営については、組織づくりが容易ではない。				福島会館の老朽化した空調設備の改修工事、拝島会館の耐震補強工事、昭和会館の窓サッシ改修工事の設計委託を防衛省の補助を活用し実施する。					

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	野外活動施設管理事業		部	生涯学習部	課長	片岡 国幹					
			課	社会教育課							
			係	社会教育係	電話	内線2259					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）	昭島市富士見高原野外活動施設運営要綱、昭島市北秋川山の家運営要綱							
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	01	生涯学習	法令による事業実施義務								
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり						
予算科目コード	款	10	項	04	目	04	細目	003	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市内の青少年団体及び社会教育関係団体等					市内の青少年団体及び社会教育関係団体等が野外活動を通して生活体験し、集団生活による仲間との交流により、青少年等の健全な育成を図る。					
	実施内容										
	・富士見高原キャンプ場 ・北秋川山の家 市内の青少年団体及び社会教育関係団体等の団体が、野外活動を通じて自然に接し、また集団生活を通して仲間づくりや交流を深める。					実績・成果 富士見高原キャンプ場では、8団体220人、北秋川山の家では、10団体269人、合計18団体489人の市内の青少年団体及び社会教育関係団体等が利用した。 自然環境の中で生活経験、環境学習を体験したことにより、青少年の健全な育成ができ、生涯学習の推進となった。					
	コスト										
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	1,682	1,758	1,425	1,720				
	財源内訳	国庫支出金		千円							
		都支出金		千円							
地方債		千円									
その他特定財源		千円									
一般財源		千円	1,682	1,758	1,425	1,720					
一般職員人件費		千円	820	820	820	816					
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10					
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	2,502	2,578	2,245	2,536					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			2		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由 社会教育課に属する任意の事業のうち、当該事業の優先度は8番目程度である。					判断理由 北秋川山の家は夏場のみの利用のため、奥秋川振興会と宿泊数に応じた賃貸借の契約とし、有効利用をしている。 富士見高原キャンプ場も期間中について、施設管理・点検等を委託し省力化を図っている。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由 ストレスの多い現代社会に生活していると、大自然とのふれ合いによって心身ともにリラックスすることは大切である。障害のある青少年の団体、リーダー講習会では、毎年利用している。また、キャンプ用具の貸出しを、昭和会館にて行なっていて、青少年団体や社会教育関係団体の野外活動に利用している。					判断理由 利用者は施設利用が無料であり、キャンプに必要なテント・毛布・調理器具などは用意できている。 管理委託により、施設の開設・閉設・点検などの業務が適切に行なわれている。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組			
					○夏期のみ利用であり、利用希望が土日集中することから、利用者の増加はあまり見込めない。 ○富士見高原野外活動施設は、キャンプ場、管理棟、宿泊等、トイレ、シャワー室があり、管理棟、宿泊棟は、平成8年の建築で、今後建物の修繕など維持管理の費用の増が見込まれる。 ○野外活動施設の維持管理など全般的な運営の見直しの必要がある。			現状維持			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し										
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し										
	C 抜本的な見直し										
D 縮小・廃止											
E 現状を維持											

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	格技道場管理		部	生涯学習部	課長	武藤 茂						
			課	スポーツ振興課								
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	O3	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法						
	大項目	O3	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	O4	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード	款	10	項	O4	目	O4	細目	O02	細々目	O1	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	社会教育関係団体						スポーツ・レクリエーションの振興を図る					
	実施内容											
	格技道場（畳92畳敷）を社会教育関係団体を対象に、柔道・空手・軽体操などの場として貸し出しをしている。						実績・成果 利用団体数：6団体 利用回数：406回 利用者総数：4,776人					
	コスト											
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	5,411	5,416	5,375	5,419					
	財源内訳	国庫支出金		千円								
		都支出金		千円								
		地方債		千円								
		その他特定財源		千円								
	一般職員人件費		千円	820	820	820	816					
	人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10					
	再任用職員人件費		千円									
人工数		人										
総事業費		千円	6,231	6,236	6,195	6,235						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				2		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由				判断理由							
	柔道、合気道練習生・愛好家にとって、一般で武道場を使用できる施設は少ないため、必要性は高い。				大規模改修等ができない状況の中では、大幅な利用拡大を図ることは困難であり、貸出対象の範囲を定めて実施している。							
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
判断理由				判断理由								
総合スポーツセンター柔道場・剣道場は他種目での利用もあることから、柔道協会・空手道協会の活動拠点として格技道場が利用されている。				昭和49年に開設された道場で老朽化も進んでいるが、一定の維持管理コストで適切な対応を図っている。23年度は緊急雇用事業で樹木剪定を行った。ほぼ毎日使用がある状況である。								
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題				平成26年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		都市計画道路予定地であるため、老朽化に伴う大規模改修ができず、利用の拡大が困難な状況である。毎年、国への敷地借上げ料が発生している。				決算状況等を踏まえ、事業費の見直しや削減を検討する。					

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	保健体育事務		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法					
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり）						
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	002	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市のスポーツ振興に係る事務					市民が健康で明るい生活を営めるよう、保健体育事務を円滑に行う。					
	実施内容										
	職員被服貸与、事務用品購入、事業の傷害保険加入等の事務処理					実績・成果 課長1、係長1、職員4、再任用職員（週31時間） 1、再任用職員（2週で38時間45分）2。					
	コスト										
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	685	831	478	777	その他特財 ・市民総合賠償補償 保険金			
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他特定財源	千円	140	250	95	250				
	一般財源	千円	545	581	383	527					
	一般職員人件費		千円	6,560	6,560	6,560	6,528				
	人工数		人	0.80	0.80	0.80	0.80				
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	7,245	7,391	7,038	7,305					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	市民が健康で明るい生活が営めるよう、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供と場の整備を図るために必要。				判断理由	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供と場の整備に係る事務処理等は、一元的に行うことが有効であると判断する。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由	円滑に事業が実施できている。				判断理由	事務経費については、前例にとらわれず常にコスト意識をもち事務執行にあたっている。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	小中学生や社会人を対象とした事業、会議のため、夜間や土日の時間外勤務が多い状況にある。			決算状況等を踏まえ、事業費の見直しや削減を検討する。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	スポーツ推進委員事務		部	生涯学習部	課長	武藤 茂						
			課	スポーツ振興課								
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法						
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			昭島市スポーツ推進委員に関する規則						
中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり）							
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	003	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	スポーツ推進委員						スポーツ推進委員活動を円滑に進める。					
	実施内容											
	スポーツ推進委員の報酬、旅費、貸与品、スポーツ安全保険加入等の事務処理及び活動支援						実績・成果 スポーツ推進委員は、市や地域主催のスポーツ行事等に協力し、市民のスポーツ振興に寄与している。 (委員 18人)					
	コスト											
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	2,933	2,635	2,640	3,006					
	財源内訳	国庫支出金		千円								
		都支出金		千円								
地方債		千円										
その他特定財源		千円										
一般職員人件費		千円	6,560	6,560	6,560	6,528						
人工数		人	0.80	0.80	0.80	0.80						
再任用職員人件費		千円										
人工数		人										
総事業費		千円	9,493	9,195	9,200	9,534						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				4		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由				判断理由							
	スポーツ基本法第32条の規定に基づき教育委員会が委嘱するスポーツ推進委員の活動を支援する必要がある。				国や東京都、各区市町村等からの情報処理や、委員の活動経費の支出などの事務処理は、現在の「主管課における一元処理」が有効であると判断する。							
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
判断理由				判断理由								
チャレンジデーや国体に向けた事業など、新たな任務も増加傾向にあるが、円滑に事業等が実施できている。				スポーツ推進委員定例会を毎月開催し、そのなかで情報の共有を図っている。また、上部団体等が開く研修会にも積極的に参加し、技術の向上に努めている。								
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E			現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		引き続き、スポーツ推進委員が十分な力を発揮できる環境を整えていく。			スポーツ推進委員の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	市民健康づくり歩け歩け運動事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂						
			課	スポーツ振興課								
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法						
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり)							
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	004	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市内在住・在勤者とその家族・友人						健康づくりにおける歩くことの重要性を確認し、家族・友人と一緒に歩く野外活動の楽しさを味わう。					
	実施内容											
	年2回の市民健康づくり歩け歩け運動の実施及び定められた距離を踏破した者の認定・記録表彰。						実績・成果 年2回の市民健康づくり歩け歩け運動が実施され、自然に親しみながら歩くことにより、市民の交流及び健康づくりが図られた。 第120回（5月19日）14km 参加者88人 第121回（11月3日）11km 参加者79人 （表彰） 1,000km－2人 500km－3人					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	356	435	356	551					
	財源内訳	国庫支出金		千円								
		都支出金		千円								
		地方債		千円								
その他特定財源		千円										
一般職員人件費		千円	820	820	820	816						
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10						
再任用職員人件費		千円										
人工数		人										
総事業費		千円	1,176	1,255	1,176	1,367						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				2		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由		日常生活で歩くことが少なくなってきた。健康づくりにおける歩くことの重要性を確認してもらう。				判断理由		スポーツ推進委員が指導員となって開催。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
	判断理由		定められた距離を踏破したことによる認定及び記録表彰を行うことにより参加意欲が高められる。				判断理由		年2回の事業を楽しみにしている市民は多い。一定の距離を歩くことによって表彰されることで市民の健康づくり、体力づくりの場となっている。			
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		ウォーキングを主な活動としている団体等への委託の可能性を追求するとともに、受益者負担（参加費）導入の可能性についても検討する必要がある。			決算状況等も踏まえ、歩け歩け運動の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	スポーツ・レクリエーションフェスティバル開催事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	O3	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法					
	大項目	O3	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
中項目	O4	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり）						
予算科目コード	款	10	項	O5	目	O1	細目	O05	細々目	O1	<input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民					スポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、体力及び健康増進への意識の高揚を図る。					
	実施内容										
	毎年体育の日に、だれもが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動として、体育協会・レクリエーション研究会等の協力を得てスポーツ・レクリエーションフェスティバルを実施。会場は総合スポーツセンター、昭和公園。本年は国体開催直後だったため、規模を縮小して開催。					実績・成果 体育の日（10月14日）に総合スポーツセンター、昭和公園において「市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル2013」を開催。メニューは屋内20種、屋外1種（ツリーイング）。参加人数（延べ）1,740人。スポーツ・レクリエーション活動を通じて、健康づくりと交流が図られた。					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	27	30	8	1,730				
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円								
		地方債	千円								
その他特定財源		千円				1,700					
	一般財源	千円	27	30	8	30					
一般職員人件費		千円	820	820	820	816					
	人工数	人	0.10	0.10	0.10	0.10					
再任用職員人件費		千円									
	人工数	人									
総事業費		千円	847	850	828	2,546					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	スポーツ・レクリエーションに、だれもが気軽に参加でき、親しむきっかけづくりが必要。				判断理由	体育協会と共催形式をとり、スポーツ・レクリエーションを気軽に体験等できる「まつり」を重視したイベントとなっている。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由	毎年「体育の日」に実施することにより、フェスティバルの開催が市民に定着してきており、多くの方に楽しんでいただいている。				判断理由	体育協会、レクリエーション研究会、昭島くじらスポーツクラブ等がボランティアで協力。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	A		現状における課題 新たな種目の導入も視野に入れたメニューを検討。			平成26年度予算編成における具体的な取組 25年度は国体開催直後だったため、規模を縮小して開催したが、26年度は従前の規模での開催を予定。新たな種目の導入も検討する。				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持										

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	市民体育大会等開催事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法					
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	04	スポーツ・レクリエーション									
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり）						
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	006	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民体育大会「種目別大会」：市内在住在勤者、市民体育大会「自治会ブロック別大会」：市民、「市民綱引き大会」：市内在住在勤者、「シニア軟式野球大会」：市内在住・在勤の60歳以上の者、「自治会ブロック対抗スポーツ大会」：市民					スポーツ・レクリエーションを通じて市民の交流を深めるとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として開催。また、体力及び健康増進への意識の高揚を図る。					
	実施内容					実績・成果					
	「種目別大会」：体育協会に委託し25種目を実施。 「自治会ブロック別大会」：自治会連合会に委託し、20のブロックが15会場で開催。 「市民綱引き大会」：商工会・競技団体・スポーツ推進委員で構成する実行委員会に委託し、一般の部・スポレクの部、女子の部・小学生の部を実施。 「シニア軟式野球大会」：還暦軟式野球連盟を主体とする実行委員会に委託し、実施。 「自治会ブロック対抗スポーツ大会」：自治会連合会・スポーツ推進委員で構成する実行委員会に委託し、インドアバタック大会を計画したが、天候不良により中止。					「種目別大会」：参加者 7,722人 「自治会ブロック別大会」：参加者 10,826人 「市民綱引き大会」：参加チーム数 13チーム（132人） 「シニア軟式野球大会」：参加者 76人 「自治会ブロック対抗スポーツ大会」：（参加予定ブロック数）12					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	8,796	8,225	7,933	8,334	その他特財 ・多摩・島しょスポーツ振興事業助成金			
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円								
		地方債	千円								
その他特定財源		千円	365	300	291	300					
一般財源	千円	8,431	7,925	7,642	8,034						
一般職員人件費	千円	4,920	4,920	4,920	4,896						
人工数	人	0.60	0.60	0.60	0.60						
再任用職員人件費	千円										
人工数	人										
総事業費	千円	13,716	13,145	12,853	13,230						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	昭島市におけるスポーツの振興と、市民の健康づくり、市民相互の交流等、その果たす役割は大きく、今後も継続して行く必要がある。				判断理由	それぞれ体育協会、自治会連合会、実行委員会に委託をして実施しているが、運営等も順調である。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			4		
	判断理由	市民体育大会「自治会ブロック別大会」は、天候不良により多くのブロックが体育館での開催となり参加者数が減少した。「市民綱引き大会」では新たに「小学生の部」を新設し、3チームの出場があった。「自治会ブロック対抗スポーツ大会」は中止となってしまったが、事前の練習会等には多くの参加があった。				判断理由	「市民綱引き大会」には、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金を活用した。また、各大会は多くの市民ボランティアに支えられ、相互の交流も図られている。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	「市民綱引き大会」では新たに「小学生の部」を新設したが、参加者増に向けて今後さらなるPRが必要。			引き続き関係団体と協力し、各種大会の開催に必要とされる予算を適切に計上していく。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署																																																																																																				
	新春駅伝競走大会開催事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂																																																																																																	
			課	スポーツ振興課																																																																																																			
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152																																																																																																	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>																																																																																																		
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法																																																																																																	
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）																																																																																																				
中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務																																																																																																		
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり）																																																																																																		
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	007	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）																																																																																												
事務事業概要	目的																																																																																																						
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>																																																																																																	
	市内在住・在勤・在学の中学生以上の者で編成するチーム（一般男子1部は、市外の中学生以上の者で編成するチームの参加を認める。）					スポーツの振興と走ることによる健康づくり・市民の交流をはかる。																																																																																																	
	実施内容					実績・成果																																																																																																	
	市内周回コースで一般の1部、同2部、女子の部、壮年の部、中学男子の部、中学女子の部の6部門で駅伝競技を行う。1チームは6人（一般男子1部のみ5人）。 運営は陸上競技協会へ委託。 参加費は、ゼッケン代等として正選手1人100円＋1チーム1,000円を陸上競技協会が徴収するが、中学生のみのチームは免除。					平成26年1月12日開催。参加チーム数 213チーム、参加人数 1,463人。																																																																																																	
	コスト																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>(単位)</th> <th>24決算</th> <th>25当初予算</th> <th>25決算</th> <th>26当初予算</th> <th colspan="4">備考<特財名称等></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">直接事業費</td> <td>千円</td> <td>2,127</td> <td>2,191</td> <td>2,142</td> <td>2,241</td> <td colspan="4" rowspan="7"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源</td> <td>千円</td> <td>75</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>2,052</td> <td>2,141</td> <td>2,142</td> <td>2,241</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般職員人件費</td> <td>千円</td> <td>4,920</td> <td>4,920</td> <td>4,920</td> <td>4,896</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人工数</td> <td>人</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td colspan="2">再任用職員人件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人工数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>千円</td> <td>7,047</td> <td>7,111</td> <td>7,062</td> <td>7,137</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>													(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				直接事業費		千円	2,127	2,191	2,142	2,241					財源内訳	国庫支出金	千円					都支出金	千円					地方債	千円					その他特定財源	千円	75	50			一般財源	千円	2,052	2,141	2,142	2,241	一般職員人件費		千円	4,920	4,920	4,920	4,896		人工数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	再任用職員人件費		千円						人工数	人					総事業費		千円	7,047	7,111	7,062	7,137				
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>																																																																																															
	直接事業費		千円	2,127	2,191	2,142	2,241																																																																																																
	財源内訳	国庫支出金	千円																																																																																																				
都支出金		千円																																																																																																					
地方債		千円																																																																																																					
その他特定財源		千円	75	50																																																																																																			
一般財源		千円	2,052	2,141	2,142	2,241																																																																																																	
一般職員人件費		千円	4,920	4,920	4,920	4,896																																																																																																	
	人工数	人	0.60	0.60	0.60	0.60																																																																																																	
再任用職員人件費		千円																																																																																																					
	人工数	人																																																																																																					
総事業費		千円	7,047	7,111	7,062	7,137																																																																																																	
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による																																																																																																							
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3																																																																																														
	判断理由			新春を飾るスポーツとして市民に定着しており、参加者も多い。また、中学校運動部からの参加も多い。		判断理由			運営については、陸上競技協会に委託。中学生のみのチームを除き、保険料、ゼッケン代を徴収。看板設置等、一部業務については民間に委託。																																																																																														
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3																																																																																														
	判断理由			新春を飾るスポーツとして市民に定着しており、沿道での応援も多い。		判断理由			警察、消防、体育協会等の協力を得て中学生から大人まで多くの市民が参加している大会である。																																																																																														
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組																																																																																															
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		今後、大会を取巻く交通環境等の変化に対応しつつ、安全で楽しめる大会の開催を追求する必要がある。また参加者から迅速にタイムや順位を教えてもらいたいという要求が年々高まっており、他の自治体の駅伝大会でも取り入れている電子チップの導入が課題である。			駅伝大会開催の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。																																																																																																	

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署													
	選手・役員大会派遣事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂										
			課	スポーツ振興課												
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152										
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>										
	政策項目	O3	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ振興法										
	大項目	O3	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）													
中項目	O4	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務											
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり)											
予算科目コード	款	10	項	O5	目	O1	細目	O08	細々目	O1	<input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)					
事務事業概要	目的															
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>									
	市内在住・在勤・在学者						日頃の練習の成果を発表し、併せて技術を向上させる機会として市代表を派遣									
	実施内容															
	体育協会に委託し、市代表の選手・役員を各種大会に派遣する。 (派遣大会) 都民体育大会、都民生涯スポーツ大会、都民スポレクふれあい大会						実績・成果 都民体育大会：23種目 239人 都民生涯スポーツ大会及び都民スポレクふれあい大会：12種目 160人									
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>								
	直接事業費		千円	1,489	980	996	1,693									
	財源内訳	国庫支出金		千円												
		都支出金		千円												
		地方債		千円												
		その他特定財源		千円												
	一般財源		千円	1,489	980	996	1,693									
	一般職員人件費		千円	820	820	820	816									
	人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10									
	再任用職員人件費		千円													
人工数		人														
総事業費		千円	2,309	1,800	1,816	2,509										
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による															
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3					
	判断理由				市を代表する選手・役員を派遣することは、今後も生涯スポーツ活動支援の一環として継続していく必要がある。				判断理由				各大会への選手選抜・派遣は体育協会に委託している。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4		④効率性（効率的に実施できたか）				3					
	判断理由				上部大会への選抜・派遣は、スポーツの振興に果たす役割は大きい。				判断理由				毎年行われる都民体育大会、市町村総合体育大会（本年度は国体開催のため開催なし）、都民生涯スポーツ大会に多くの参加者があり、日頃鍛えた力と技を発揮している。ほぼ毎年入賞以上の成績を残している。			
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題				平成26年度予算編成における具体的な取組							
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		事業委託先（体育協会）と協議し、派遣人員の適正数を検証していく。				選手・役員大会派遣事業の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。									

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	スポーツ団体補助事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法					
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			昭島市社会教育関係団体補助金交付要綱					
中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり）						
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	009	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	社会教育関係団体					市民の自主的な社会教育活動を推進し、社会教育の発展を図る。					
	実施内容					実績・成果					
	次の団体に補助金を交付する。 ・体育協会 ・リトルリーグ野球協会 ・少年野球連盟 ・早朝軟式野球連盟 ・ゲートボール協会 ・フットベースボール協会					次の団体に補助金を交付した。 ・体育協会（2,260,000円） ・リトルリーグ野球協会（258,000円） ・少年野球連盟（103,000円） ・早朝軟式野球連盟（100,000円） ・ゲートボール協会（380,000円） ・フットベースボール協会（50,000円）					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	3,223	3,206	3,206	3,926				
	財源内訳	国庫支出金		千円							
		都支出金		千円							
		地方債		千円							
その他特定財源		千円									
一般財源		千円	3,223	3,206	3,206	3,926					
一般職員人件費		千円	820	820	820	816					
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10					
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	4,043	4,026	4,026	4,742					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				2		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3
	判断理由	市民の自主的な社会教育活動を促進し、市の社会教育の発展を図る。				判断理由	昭島市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、補助金を支出。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4		④効率性（効率的に実施できたか）				3
判断理由	各団体とも、大会を開催するなど有効に使用されている。				判断理由	市の体育・スポーツ団体の発展を図るための補助事業であり、各団体とも毎年総会を開き、予算・決算及び事業計画を報告し効率的な運営に努めている。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持				団体の総収入額に占める割合等を慎重に検討し、引き続き適正な補助に努める			他市の状況等も参考にしながら団体に対する補助金の見直しを検討していく。			

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	運動施設及び学校開放事業費		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）		スポーツ基本法						
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）		昭島市立学校施設設備使用条例						
中項目	04	スポーツ・レクリエーション		法令による事業実施義務							
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）			<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	010	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民					スポーツ・レクリエーション活動の場として施設を開放					
	実施内容					実績・成果					
	スポーツ・レクリエーション施設開放（昭和公園陸上競技場：5月～10月毎週水・金曜日）（昭和公園テニスコート：5月～9月毎週水・金・第3日曜日） 小学校プール開放：富士見丘小・つつじが丘南小・拝島第2小・拝島第3小（夏休み期間中の数日間PTAに委託して実施） 校庭夜間照明施設開放：つつじが丘北小・拝島第4小・昭和中 4月～11月（校庭・テニスコート）					スポーツ・レクリエーション施設開放（昭和公園陸上競技場・テニスコート）：利用人数810人 小学校プール開放：利用人数1,237人 校庭夜間照明施設開放：利用人数 7,877人					
	コスト										
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	927	1,061	867	1,115				
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他特定財源	千円								
一般職員人件費		千円	820	820	820	816					
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10					
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	1,747	1,881	1,687	1,931					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由			スポーツ・レクリエーション施設開放（昭和公園陸上競技場・テニスコート）は、個人や家族連れの方が事前予約にこだわらず、気軽にスポーツ施設を利用することができる。 小学校プール開放は、市営プールに比較的近距離の児童を対象に、体力向上、健康増進の場として小学校プールを開放し、児童の健全な育成を図る。 校庭夜間照明施設開放は、社会人等のスポーツ参加への機会確保・拡大を図っている。				判断理由			
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由			各事業とも利用者は多い。				判断理由			
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		スポーツ・レクリエーション施設開放事業や小学校プール開放事業の委託先として民間事業者等も検討できる。			利用状況等も勘案しながら必要な予算計上をしていく。					

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	親子ふれあいスポーツデー開催事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂						
			課	スポーツ振興課								
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）	スポーツ基本法								
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	04	スポーツ・レクリエーション	法令による事業実施義務									
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり） <input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）							
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	011	細々目	01		
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市内の小学生とその保護者						親子がいっしょにスポーツ・レクリエーションを楽しむことを通じてふれあいを深める機会を提供する。					
	実施内容											
	市の東部・中部・西部・青梅線北側の各地区で、年1回ずつ計4回、土曜日の午前中に小学校の校庭及び体育館を利用して「親子ふれあいスポーツデー」を開催。						実績・成果 第1回（成隣小）参加者 72人 第2回（持4小）参加者 4人 第3回（玉川小）参加者 97人 第4回（つ北小）参加者 40人					
	コスト											
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	60	80	60	60					
	財源内訳	国庫支出金		千円								
		都支出金		千円								
地方債		千円										
その他特定財源		千円										
一般財源		千円	60	80	60	60						
一般職員人件費		千円	820	820	820	816						
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10						
再任用職員人件費		千円										
人工数		人										
総事業費		千円	880	900	880	876						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				2		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由 親子がスポーツを一緒にすることを通じて交流を一層深める機会を提供。						判断理由 スポーツ推進委員、レクリエーション研究会、グラウンドゴルフ協会の協力を得て実施。各回、指導員3人（@1,250円×4時間×3人）を依頼。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）				2		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
	判断理由 余暇の過ごし方が多様化してきており、親子でいっしょに来場される参加者は少ない。						判断理由 スポーツ推進委員らの協力のもと小学校の校庭・体育館を使い、土曜日の午前中に親子でスポーツを楽しんでもらっているが、週休2日制が定着してきたためか親子の参加者が少なくなっている。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		A		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		現状における課題 青少年とともにあゆむ各小学校地区委員会でも、スポーツ大会を開催している現状もあることから、今後は、同委員会事業との一本化や事業内容の見直し等、検討する必要があると思われる。			気候なども勘案し、開催時期の変更を検討するとともに、人気種目を追加するなど、参加者増に努める。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	チャレンジデー開催事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	O3	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法					
	大項目	O3	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			昭島市立学校施設設備使用条例					
中項目	O4	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり						
予算科目コード	款	10	項	O5	目	O1	細目	O12	細々目	O1	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民					市民一人ひとりが、それぞれに応じた運動やスポーツ等を日常的に行う。					
	実施内容										
	毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加。 （内容）人口規模のほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツ等の身体活動（運動）を行った住民の「参加率」を競い合う。体育協会や健康づくり推進協議会、商工会、自治会連合会などにより昭島市チャレンジデー実行委員会を構成し、事業を委託。 また、本年はチャレンジデーの前週に本事業のPRを兼ねたスポーツイベント「スポーツ・チャレンジフェスティバル」を昭島公園運動施設及び総合スポーツセンターで開催。					実績・成果 チャレンジデー開催日：5月29日（水） 参加人数：81,753人 参加率：72.3% 対戦相手：岩手県奥州市（53.9%） スポーツ・チャレンジフェスティバル開催日：5月19日（日） 参加人数：1,842人					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	210	1,000	1,044	250	その他特財 ・多摩・島しょスポーツ振興事業助成金			
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円								
		地方債	千円								
その他特定財源		千円		700	749						
一般職員人件費	千円	1,640	2,460	1,640	2,448						
人工数	人	0.20	0.30	0.20	0.30						
再任用職員人件費	千円			0	0						
人工数	人			0.00	0.00						
総事業費	千円	1,850	3,460	2,684	2,698						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由 スポーツ等の力で「元気都市あきしま」を目指す。					判断理由 体育協会をはじめ、広範な団体・事業所の連携により事業を遂行できた。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）				5	④効率性（効率的に実施できたか）				5	
	判断理由 参加率72.3%を獲得することができた。また、昨年初参加をしたチャレンジデーをきっかけに、日常的にスポーツ等を行う団体等も生まれている。					判断理由 PRや参加の呼びかけが効率的にできた。また、「スポーツ・チャレンジフェスティバル」開催には、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金を活用した。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		A		現状における課題 参加率を維持すべく、さらに広範な団体・事業所への働きかけが必要。			平成26年度予算編成における具体的な取組 チャレンジデーの認知度をさらに高めるため、全庁的な協力体制の下、積極的なPR活動を行う。 引き続き、運動やスポーツ等を日常的に行う団体、事業所等を対象に認定制度を実施し、運動やスポーツ等を日常的に行うきっかけを作る。			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持										

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	子どもスポーツ力向上事業		部	生涯学習部	課長	武藤 茂						
			課	スポーツ振興課								
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152						
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	O3	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ基本法						
	大項目	O3	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			昭島市立学校施設設備使用条例						
中項目	O4	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり)							
予算科目コード	款	10	項	O5	目	O1	細目	O14	細々目	O1	<input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>						
	市内在住・在勤・在学で日常的にスポーツを行っている子ども					昭島からアスリート選手を輩出する						
	実施内容											
	通常レベル以上のコーチ等を招へいし技術力向上に資する練習会等を体育協会に委託し実施。 ・軟式少年野球強化練習 ・軟式少年野球大会 ・昭島市選抜招待少年サッカー大会 ・ミニバスケットボール強化練習及び試合 ・ジュニアゴルフ教室					実績・成果 ・軟式少年野球強化練習（参加者数：68人） ・軟式少年野球大会（参加者数：165人） ・昭島市選抜招待少年サッカー大会（参加者数：267人） ・ミニバスケットボール強化練習及び試合（参加者数：54人） ・ジュニアゴルフ教室（参加者数：17人）						
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円		1,000	818		その他特財 ・多摩・島しょスポーツ振興事業助成金				
	財源内訳	国庫支出金	千円									
		都支出金	千円									
		地方債	千円									
その他特定財源		千円			818							
一般財源	千円		1,000	0								
一般職員人件費		千円			820							
人工数		人			0.10							
再任用職員人件費		千円										
人工数		人										
総事業費		千円		1,000	1,638							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3			
	判断理由			2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向けて、競技者の少年・少女期から技術力向上を図る施策は必要。				判断理由				日常的にスポーツを行っている子どもの競技力向上を図る事業であるため、該当する選手のデータ等を豊富に所有している体育協会に運営を委託することは妥当と考える。
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3		④効率性（効率的に実施できたか）			5			
	判断理由			単年では成果の見えにくい部分もあるが、ミニバスケットボールは市部予選会を勝ち抜き市部代表として東京都本大会出場を果たしている。				判断理由				該当する選手のデータ等を豊富に所有している体育協会に運営を委託することでスムーズな運営を行うことができた。 また、本事業には多摩・島しょスポーツ振興事業助成金を活用した。
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		A		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		他の種目についても競技力・技術力の向上を図る必要がある。			多くの種目が対象となるべく、子ども限定の枠を解消し、成人に対しても技術力向上を図る新たな施策を行う。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署										
	総合スポーツセンター管理運営		部	生涯学習部	課長	武藤 茂							
			課	スポーツ振興課									
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152							
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>								
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）		スポーツ振興法								
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）		昭島市総合スポーツセンター条例								
中項目	04	スポーツ・レクリエーション		法令による事業実施義務									
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり								
予算科目コード	款	10	項	05	目	02	細目	001	細目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり		
事務事業概要	目的												
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>							
	市民・団体等					市民の公共スポーツ施設の拠点として充実したサービスを提供							
	実施内容					実績・成果							
	総合スポーツセンターの管理・運営等を民間に委託し、官民一体となって充実したサービスを提供していく。また、各種スポーツ教室についても民間に委託し、効果的な運営を行う。 総合スポーツセンター：体育室、軽体操室、柔道場、剣道場、弓道場、温水プール、トレーニングルーム、研修室 スポーツ教室：「健康さわやか教室」「親子体操教室」等24事業					団体利用 ・体育室（2ヶ所）：1,813件 ・軽体操室（2ヶ所）：3,140件 ・柔剣道場：1,234件 ・弓道場：401件 ・温水プール：1,295件 個人利用 ・軽体操室（2ヶ所）：1,339人 ・柔剣道場：2,183人 ・弓道場：1,010人 ・温水プール：48,158人 ・トレーニングルーム：68,980人							
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>					
	直接事業費		千円	193,425	191,019	193,371	213,772	その他特財 ・総合スポーツセンター使用料 ・庁舎等光熱水費 ・行政財産使用料 ・各種講習会受講料					
	財源内訳	国庫支出金	千円										
		都支出金	千円										
		地方債	千円										
その他特定財源		千円	67,567	68,458	65,569	67,142							
一般財源		千円	125,858	122,561	127,802	146,630							
一般職員人件費	千円	1,640	1,640	1,640	1,632								
人工数	人	0.20	0.20	0.20	0.20								
再任用職員人件費	千円	4,100	4,100	4,100	4,160								
人工数	人	1.00	1.00	1.00	1.00								
総事業費	千円	199,165	196,759	199,111	219,564								
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3				
	判断理由	廉価で通年利用できる温水プールやトレーニングジム、屋内競技用の体育施設は、市民の健康づくりのために必要。				判断理由	総合スポーツセンターの管理・運営及び各種スポーツ教室の開催は民間に委託し、官民一体となって充実したサービスを提供している。施設（駐車場含む）使用料は市民、他市民とも同額。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3				
	判断理由	市内には同規模以上の体育施設は無く、市内の公共スポーツ施設の拠点となって多くの市民に利用されている				判断理由	体育室、温水プール、トレーニング室等を備えた体育館であるので一定の維持管理費はかかるが、省エネに努めている。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組						
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	現状における課題 現在施設利用料は、市民、他市民とも同額であるが、市内料金、市外料金等の設定について検討の必要がある。 また、施設が老朽化してきている部分も見受けられるので、計画的な修繕等を検討する必要がある。			必要な修繕等を行うとともに、事業費の削減に努める。 また、計画的な修繕を実施するため「老朽化調査」を実施する。								

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	みほり体育館管理運営		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	O3	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ振興法					
	大項目	O3	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			昭島市みほり体育館条例					
中項目	O4	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり)						
予算科目コード	款	10	項	05	目	02	細目	002	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民・団体等					市民のふれあい、スポーツ・レクリエーションの場として設置					
	実施内容					実績・成果					
	体育室（420㎡）と研修室（66㎡）の貸出及び管理。9時～21時開館。毎月曜日休館。昼間は再任用職員又は臨時職員、夜間は管理員又は臨時管理員がそれぞれローテーションにより1人ずつ勤務。当該体育館施設は、都が都営住宅内に建設したものを使用許可（無償）を受け運営。					団体利用 ・体育室：837件（13,973人） ・研修室：386件（2,752人） 個人利用 ・体育室：2,417人					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	6,346	6,551	6,857	6,885	その他特財 ・みほり体育館使用料 ・雇用保険料 ・庁舎等光熱水費			
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円								
		地方債	千円								
その他特定財源		千円	2,180	2,384	2,079	2,041					
一般財源	千円	4,166	4,167	4,778	4,844						
一般職員人件費	千円	1,640	1,640	1,640	1,632						
人工数	人	0.20	0.20	0.20	0.20						
再任用職員人件費	千円	4,100	4,100	4,100	4,160						
人工数	人	1.00	1.00	1.00	1.00						
総事業費	千円	12,086	12,291	12,597	12,677						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	地域の体育館として定着しており、継続して利用する市民もいる。本市におけるスポーツ振興の拠点のひとつとして存続する必要がある。				判断理由	施設の管理は、昼間は再任用職員又は臨時職員、夜間は管理員又は臨時管理員がそれぞれローテーションにより1人ずつ勤務している。施設利用料は市民、他市民とも同額。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由	小規模ながら、市の西部にある体育施設として市民のスポーツ・レクリエーション活動に利用されている。				判断理由	市民の健康づくり、体力づくりに寄与している施設で一定の維持管理費はかかるが省エネに努めている。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	現在施設利用料は、市民、他市民とも同額であるが、市内料金、市外料金等の設定について検討の必要がある。 また、施設が老朽化してきている部分も見受けられるので、計画的な修繕等を検討する必要がある。			必要な修繕等を行うとともに、事業費の削減に努める。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署							
	市民プール管理運営		部	生涯学習部		課長	武藤 茂			
			課	スポーツ振興課						
			係	スポーツ振興係		電話	544-4152			
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ振興法				
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）							
中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務					
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり） <input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）					
予算科目コード	款	10	項	05	目	03	細目	001	細々目	01
事務事業概要 目的 <対象は誰、何か> 市民等 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民の夏季における健康づくりや遊びの場として開設 実施内容 7月20日（土）～9月1日（日）までの44日間（うち機械点検休業日2日）開設。運営は民間会社に委託。駐車場あり（東京都下水道局用地を無償借用） プールの種類）流水プール、25mプール、児童用プール、幼児用プール、スライダープール 実績・成果 利用料金 ・大人2時間 200円 ・小人2時間 50円 ・ロッカー代 50円 利用者数 ・大人 13,037人 ・小人 21,747人										
コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
直接事業費		千円	31,462	30,228	27,372	32,297	都支出金 ・市町村総合交付金 その他特定財源 ・市民プール使用料			
財源内訳	国庫支出金	千円								
	都支出金	千円	4,000		4,400					
	地方債	千円								
	その他特定財源	千円	5,003	5,140	4,842	4,930				
一般職員人件費	千円	820	820	820	816					
人工数	人	0.10	0.10	0.10	0.10					
再任用職員人件費	千円									
人工数	人									
総事業費	千円	32,282	31,048	28,192	33,113					
事務事業評価 個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による ①優先度（どの程度優先されるべきか） 3 ②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3 判断理由 市民の夏季における健康づくりや遊びの場として、市営プールを開設。 判断理由 運営は民間会社に委託をし、経費の削減に努めている。 ③達成度（成果はどの程度あるか） 4 ④効率性（効率的に実施できたか） 3 判断理由 夏期における市民のレクリエーションの場として定着し、多くの市民が来場される。 判断理由 夏季における市民の健康づくり・体力づくりに寄与している施設であるが、利用者の安全を確保するため毎年多額な維持管理経費を必要とする。										
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E	現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		必要性は認められるものの、施設の老朽化も進行し、また、利用者に安全に使ってもらうためには多額な必要経費もかかるなかで、現在の厳しい財政状況下において施設を将来的に運営し続けるか検討する必要がある。			必要な修繕等を行うとともに、事業費の削減に努める。				

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	rowspan="3">拝島公園プール管理運営		部	生涯学習部	課長	武藤 茂						
	課	スポーツ振興課										
	係	スポーツ振興係	電話	544-4152								
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ振興法						
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務							
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード	款	10	項	05	目	03	細目	002	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>						
	市民等					市民の夏季における健康づくりや遊びの場として開設						
	実施内容					実績・成果						
	7月20日（土）～9月1日（日）までの44日間（うち機械点検休業日2日）開設。運営は民間会社に委託。駐車場なし。プールの種類）25mプール、児童用プール、幼児用プール					利用料金 ・大人2時間 200円 ・小人2時間 50円 ・ロッカー代 50円 利用者数 ・大人 1,425人 ・小人 2,940人						
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	12,270	11,036	13,681	11,329	都支出金				
	財源内訳	国庫支出金	千円					・市町村総合交付金				
		都支出金	千円			1,300		その他特定財源				
		地方債	千円					・拝島公園プール使用料				
その他特定財源		千円	597	537	587	539	・庁舎等光熱水費					
一般職員人件費	千円	820	820	820	816	・行政財産使用料						
人工数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
再任用職員人件費	千円											
人工数	人											
総事業費	千円	13,090	11,856	14,501	12,145							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				2	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3		
	判断理由	市民の夏季における健康づくりや遊びの場として、市営プールを開設。				判断理由	運営は民間会社に委託をし、経費の削減に努めている。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3	④効率性（効率的に実施できたか）				3		
	判断理由	市内西部地区における夏期の市民のレクリエーションの場として定着している。				判断理由	夏季における市民の健康づくり・体力づくりに寄与している施設であるが、利用者の安全を確保するため毎年多額な維持管理経費を必要とする。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題				平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	必要性は認められるものの、施設の老朽化も進行し、また、利用者に安全に使ってもらうためには多額な必要経費もかかるなかで、現在の厳しい財政状況下において施設を将来的に運営し続けるか検討する必要がある。				必要な修繕等を行うとともに、事業費の削減に努める。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	運動施設管理運営		部	生涯学習部	課長	武藤 茂					
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係	電話	544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			スポーツ振興法					
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
	中項目	04	スポーツ・レクリエーション			法令による事業実施義務					
個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり）						
予算科目コード	款	10	項	05	目	03	細目	003	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民・団体等					市民の健康増進や体力づくり、スポーツを普及する場として提供					
	実施内容					実績・成果					
	市内の屋外運動施設の良好な維持管理作業を民間に委託して実施。 （屋外運動施設） 昭和公園：市民球場、陸上競技（サッカー）場、テニスコート（7面） 大神公園：サッカー場、野球場（4面） くじら運動公園：少年サッカー場（2面）、少年野球場（4面）、テニスコート（5面）、ソフトボール場（4面） 美の宮公園：ソフトボール場					（利用実績） 昭和公園：市民球場（137件）、陸上競技場（95件）、サッカー場（367件）、テニスコート（5,326件）、駐車場利用台数：70,375台 大神公園：サッカー場（681件）、野球場（4,066件） くじら運動公園：少年サッカー場（1,490件）、少年野球場（2,147件）、テニスコート（4,379件）、ソフトボール場（2,070件） 美の宮公園：ソフトボール場（457件）					
	コスト		（単位）	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	53,429	58,102	54,457	48,652	国庫支出金 ・特定防衛施設周辺整備調整交付金 都支出金 ・国民体育大会運営費補助金 その他特定財源 ・昭和公園運動施設等使用料			
	財源内訳	国庫支出金	千円		4,300	4,300					
		都支出金	千円	2,800	327	507					
		地方債	千円								
その他特定財源		千円	17,904	18,356	18,173	18,094					
一般財源	千円	32,725	35,119	31,477	30,558						
一般職員人件費		千円	9,840	9,840	9,840	9,792					
人工数		人	1.20	1.20	1.20	1.20					
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	63,269	67,942	64,297	58,444					
事務事業評価	個別評価										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3	
	判断理由	市民の健康づくりのためにも、整備された運動施設は必要。				判断理由	受付及び維持管理作業は民間会社に委託している。大神公園及びくじら運動公園は、国から河川敷を無償借用し、運動施設に整備、利用している。昭和公園施設（駐車場含む）の利用は有料。大神公園・くじら運動公園・美の宮公園施設（駐車場含む）の利用は無料。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3	④効率性（効率的に実施できたか）				3	
	判断理由	年間を通じて利用者は多く、市民の健康づくりに寄与している。				判断理由	市民球場や陸上競技場等の運動施設は土日を中心に多くの市民の利用がある。施設整備も一定の維持管理コストで適切な対応を図っている。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成26年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	利用者の安全・安心という面からも計画的な修繕等を検討する必要がある。			安全・安心のため必要な修繕を行う。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	スポーツ祭東京2013運営事業		部	生涯学習部		課長	武藤 茂				
			課	スポーツ振興課							
			係	スポーツ振興係		電話	内線2247				
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	04	スポーツ・レクリエーション				法令による事業実施義務					
個別計画（年度）	昭島市教育振興基本計画（22年度～26年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input checked="" type="checkbox"/> 都補助等あり					
予算科目コード	款	10	項	05	目	01	細目	013	細々目	01	
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	スポーツ祭東京2013に参加する選手・役員及び観覧者、市民、関係機関					大会開催に伴い、全国から集う選手・役員及び観覧者を市民総参加のもと、「おもてなしの心」でお迎えし、昭島市の魅力を全国に発信する。					
	実施内容					実績・成果					
	○実行委員会総会及び各専門委員会の開催 ○軟式野球競技6市担当者会の開催 ○軟式野球競技連絡協議会の開催 ○デモンストレーションとしてのスポーツ行事「インドアペタンク競技会」の開催 ○開催100日前イベント及び炬火採火式の開催 ○第68回国民体育大会軟式野球競技会の開催 ○軟式野球競技会後催市町事業概要説明会の開催					○第68回国民体育大会軟式野球競技会 開催日等 10月4日（金）～7日（月）4日間（8試合） 参加者及び観覧者人数 8,297人 おもてなし会場利用人数 13,135人 （無料ドリンク・けんちんうどん・抹茶） ○デモスポ行事「インドアペタンク競技会」 開催日時等 6月30日（日） 参加チーム等 47チーム・167人（市内33チーム・122人、市外14チーム・45人）					
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	8,975	34,563	28,014		都支出金 ・国民体育大会運営費補助金 ・スポーツ祭東京2013気運醸成・開催記念事業費補助金 ・国民体育大会競技普及啓発事業費補助金 ・緊急雇用創出事業臨時特例補助金			
	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都支出金	千円	3,429	18,584	16,660					
		地方債	千円								
その他特定財源		千円	3,926	10	12						
一般財源	千円	1,620	15,969	11,342							
一般職員人件費	千円	24,600	24,600	24,600							
人工数	人	3.00	3.00	3.00							
再任用職員人件費	千円	4,100	4,100	4,100							
人工数	人	1.00	1.00	1.00							
総事業費	千円	37,675	63,263	56,714							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				5	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				5	
	判断理由	スポーツ祭東京2013は、54年ぶりに東京の多摩地区を中心に開催された。				判断理由	開催6市、競技団体及び市内関係機関等と連携し大会を盛り上げることができた。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4	④効率性（効率的に実施できたか）				3	
判断理由	スポーツ祭東京2013昭島市実行委員会等で決定した開催方針に基づき、各専門委員会等で具現化の検討を行い、全国から訪れた選手・役員、観覧者を多くの市民及び関係機関と連携し、おもてなしの心でお迎えすることができた。				判断理由	会場装飾等に地元企業からの協賛物品を活用したことにより当初予算より大幅な減額ができた。					
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		現状における課題				平成27年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持										

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署										
	市民図書館協議会事務		部	生涯学習部	課長	石川 千尋							
			課	市民図書館									
			係	整理係	電話	042-543-1523							
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>							
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）	図書館法									
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）	昭島市民図書館協議会条例										
中項目	02	図書館活動	法令による事業実施義務										
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり								
予算科目コード	款	10	項	04	目	05	細目	002	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり		
事務事業概要	目的												
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>							
	市民、図書館に関わる団体、教育機関、図書館職員 図書館の健全な発達					図書館運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、図書館長に対して意見を述べる。							
	実施内容					実績・成果							
	○図書館協議会の開催 ○子ども読書活動推進計画評価等会議の開催 ○図書館との共催事業「市民参加による先進図書館見学ツアー」の実施					○図書館協議会を年2回開催し、事務報告の承認等を行った。 ○子ども読書活動推進計画評価等会議において、進捗状況の確認を行った。 ○今後の昭島市における子ども読書活動推進計画の実施や図書館運営に活かすため、先進図書館（町田市鶴川駅前図書館）の見学を行った。							
	コスト	(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>						
	直接事業費	千円	270	300	270	300							
	財源内訳	国庫支出金	千円										
		都支出金	千円										
		地方債	千円										
その他特定財源		千円											
一般財源	千円	270	300	270	300								
一般職員人件費	千円	820	820	820	816								
人工数	人	0.10	0.10	0.10	0.10								
再任用職員人件費	千円												
人工数	人												
総事業費	千円	1,090	1,120	1,090	1,116								
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				2			
	判断理由	図書館運営に関して、図書館長に対して意見を述べる機関であり、必要度は高い。				判断理由	図書館法の趣旨に基づき活動がなされている。図書館法第14条に基づき設置、昭島市民図書館協議会条例第3条に基づき公募委員2名を含めて委員を委嘱しており、実施方法は適切である。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4	④効率性（効率的に実施できたか）				3			
	判断理由	図書館運営にあたって的確な助言を得ている。				判断理由	子ども読書活動推進計画評価等会議の委員を図書館協議会委員と併任することにより、委員の選任等事務手続きを省力化するとともに、8月及び3月の図書館協議会及び11月の子ども読書推進計画評価等会議を効率的に運営することができた。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E	現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組							
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		平成24年12月19日施行された「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、今後も引き続き図書館の運営状況について、目標及び事業計画の達成状況に関し点検及び評価に努める。			引き続き、市民図書館協議会の有効な活用を図るため、委員報酬を予算計上する。							

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	図書館管理運営		部	生涯学習部	課長	石川 千尋					
			課	市民図書館							
			係	貸出係	電話	543-1523					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			昭島市市民図書館設置条例、昭島市市民図書館運営規則、子ども読書活動推進計画					
大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	02	図書館活動			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり						
予算科目コード	款	10	項	04	目	05	細目	003	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民。図書館利用者に対するサービス提供。					市民一人当たりの貸出冊数を6.5冊以上。登録率の向上。子どもの読書への関心を深める。小学校へのブックトークの実施。デイジー図書事業の拡大。児童・青少年の図書館利用の促進。					
	実施内容					実績・成果					
	○小学校新一年生における貸出券の作成：「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行をふまえて平成14年度から実施。 ○おはなし会の実施：市民図書館本館、分館・分室で乳幼児から低学年向けのおはなし会を月1回以上実施。○小学校へのブックトーク実施 ○講演会・講習会の開催（子ども読書活動推進事業） 子ども向け：「夏休み楽しい科学あそび」、杉山亮氏の『ものがたりライブ』 保護者向け：「初めての読み聞かせ講座」 市民向け：「中学高校生の読書フォーラム」 ○ボランティア向け「おはなしボランティア向け講座」 ○デイジー等フォロー講習会、新規朗読者講習会の実施 ○図書購入					○新一年生887人中589人に貸出券を交付した。 ○おはなし会を本館、分館・分室合わせて190回実施し延べ1,434人の参加。 ○小学校へのブックトークを実施（3校、延べ8回、584人）。 ○おはなし保育園でのおはなし会（延べ4回、99人） ○講演会、講習会、講座を実施。（延べ262名の参加） ○図書館所属の音訳者60人を対象にフォロー研修を実施。 ○音訳のボランティア活動をしている市民の方を対象に実施（延べ6回、63人）。 図書の購入22,291冊（一般15,287冊、児童図書7,004冊）購入し蔵書冊数は364,635冊となった。					
	コスト										
	直接事業費		千円	132,311	136,768	130,397	155,481	備考<特財名称等>			
	財源内訳	国庫支出金	千円				919	都支出金 ・緊急雇用創出事業 臨時特例補助金 ・障害者施策推進区 市町村包括補助金 その他特定財源 ・行政財産使用料 ・複写機利用料			
		都支出金	千円	3,896	3,539	3,293	954				
		地方債	千円								
その他特定財源		千円	409	1,581	729	883					
一般財源		千円	128,006	131,648	126,375	152,725					
一般職員人件費	千円	101,680	93,480	93,480	88,944						
人工数	人	12.40	11.40	11.40	10.90						
再任用職員人件費	千円	6,560	9,840	9,840	13,312						
人工数	人	1.60	2.40	2.40	3.20						
総事業費	千円	240,551	240,088	233,717	257,737						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			2		
	判断理由	小学校1年生に貸出券を新規作成し交付することで登録率と貸出率の向上につながっていく。おはなし会や読み聞かせ講座や講演会の実施は未就学児や乳幼児や保護者に対して、図書への親しみを持ってもらえる。小学校でのブックトークも同様。読書フォーラムの開催は、中高生・高校生の読書離れに歯止めをかける役割もある。新規図書を購入していくことは、最新の情報を発信する知の拠点としては必要なことである。				判断理由	図書館本来の業務を遂行しつつ、月1回以上の「おはなし会」と子ども読書活動推進事業としての講演会や講習会を2カ月に一回の割合で実施出来ている。現状を維持し講演内容等の充実と向上を図っていくことに努めている。さらに、ボランティアを育成し向上させるため、ボランティア育成（向上）講座を実施している。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由	貸出券の新規作成事業は、毎年、申込みが多く順調である。本館・分館などで開催するおはなし会は、ボランティアの協力で実施出来ている。子ども向けの講演会や講習会の参加希望者やリピーターは多い。新規図書を購入することで市民からのリクエストにも対応している。				判断理由	実施数と内容については、毎年、大きな変化はないので実質的なコストは変わらない。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	○本館、分館で開催するおはなし会への小学生の参加人数が少ない。 ○中高年齢層の登録率、利用が少ない。 ○市民ニーズにこたえるために所蔵する図書を増やし、快適な図書館サービスを提供する。 ○新規事業の実施に伴う、サービスの低下を防ぐためにボランティアの活用を図る。			○小学校と協力しブックトークを行う。 ○中学校に設置した「子ども読書活動推進委員会」の活性化を図る。 ○子ども向けの講習会の他に高齢者を対象にした事業を行う。 ○新規購入した図書を配架するため、現行の閉架書庫（外部）の容量を増やす。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署																																																																																
	市民会館管理運営		部	生涯学習部	課長	辻 みえ子																																																																													
			課	市民会館・公民館																																																																															
			係	管理係	電話	内線2277																																																																													
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>																																																																													
	政策項目	03	未来を育む あぎしま（教育・文化・スポーツの充実）	昭島市民会館条例、昭島市民会館条例施行規則																																																																															
大項目	03	「あぎしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）	法令による事業実施義務																																																																																
中項目	03	文化・芸術																																																																																	
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり																																																																														
予算科目コード	款	10	項	04	目	06	細目	002	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり																																																																								
事務事業概要	目的																																																																																		
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>																																																																													
	市民、市民会館利用団体（社会教育団体、文化事業協会、社会福祉法人、学校、劇団、会社・事業所等）					市民の文化活動の場であり、芸術鑑賞の機会を提供し、芸術を創造・発信する場としての市民会館の機能を維持するため。																																																																													
	実施内容					実績・成果																																																																													
	○施設貸出業務 ○施設維持管理（施設消耗品、施設光熱水費、施設修繕、樹木剪定等） ○施設設備等保守委託17項目（舞台等設備管理業務委託、清掃委託、空調設備保守委託等） ○市民会館・公民館大規模改修工事（H24、H25年度事業） ○施設用備品（大ホール磁気ループシステム専用受信機、駐車場割引認証機）					平成25年1月から平成25年9月の期間で大ホールの改修工事（耐震補強、ホール天井補強、音響・照明設備、座席、舞台機構等）を実施し、建物・設備機器の安全性が確保され、芸術鑑賞等文化活動の環境が整備された。平成25年度の市民会館の利用は6カ月間で92日、利用率は68%、鑑賞者数は延べ47,378人である。平成25年度中に市民会館のネーミングライツ制度の協定書を締結した。																																																																													
	コスト																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>24決算</th> <th>25当初予算</th> <th>25決算</th> <th>26当初予算</th> <th>備考<特財名称等></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接事業費</td> <td>千円</td> <td>329,234</td> <td>481,674</td> <td>475,495</td> <td>103,753</td> <td rowspan="10"> 国庫支出金 ・市民会館・公民館大規模改修事業補助金 都支出金 ・市町村総合交付金 その他財源 ・市民会館使用料 ・市民会館・公民館駐車場使用料 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>123,938</td> <td>279,406</td> <td>279,406</td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>千円</td> <td>79,400</td> <td></td> <td>95,700</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源</td> <td>千円</td> <td>23,342</td> <td>25,408</td> <td>24,767</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>102,554</td> <td>176,860</td> <td>75,622</td> <td>103,753</td> </tr> <tr> <td>一般職員人件費</td> <td>千円</td> <td>32,800</td> <td>32,800</td> <td>32,800</td> <td>32,640</td> </tr> <tr> <td>人工数</td> <td>人</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>再任用職員人件費</td> <td>千円</td> <td>6,560</td> <td>6,560</td> <td>6,560</td> <td>6,656</td> </tr> <tr> <td>人工数</td> <td>人</td> <td>1.60</td> <td>1.60</td> <td>1.60</td> <td>1.60</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>千円</td> <td>368,594</td> <td>521,034</td> <td>514,855</td> <td>143,049</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												単位	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>	直接事業費	千円	329,234	481,674	475,495	103,753	国庫支出金 ・市民会館・公民館大規模改修事業補助金 都支出金 ・市町村総合交付金 その他財源 ・市民会館使用料 ・市民会館・公民館駐車場使用料	財源内訳	国庫支出金	千円	123,938	279,406	279,406	都支出金	千円	79,400		95,700	地方債	千円				その他特定財源	千円	23,342	25,408	24,767	一般財源	千円	102,554	176,860	75,622	103,753	一般職員人件費	千円	32,800	32,800	32,800	32,640	人工数	人	4.00	4.00	4.00	4.00	再任用職員人件費	千円	6,560	6,560	6,560	6,656	人工数	人	1.60	1.60	1.60	1.60	総事業費	千円	368,594	521,034	514,855	143,049	
		単位	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>																																																																												
	直接事業費	千円	329,234	481,674	475,495	103,753	国庫支出金 ・市民会館・公民館大規模改修事業補助金 都支出金 ・市町村総合交付金 その他財源 ・市民会館使用料 ・市民会館・公民館駐車場使用料																																																																												
	財源内訳	国庫支出金	千円	123,938	279,406	279,406																																																																													
都支出金		千円	79,400		95,700																																																																														
地方債		千円																																																																																	
その他特定財源		千円	23,342	25,408	24,767																																																																														
一般財源	千円	102,554	176,860	75,622	103,753																																																																														
一般職員人件費	千円	32,800	32,800	32,800	32,640																																																																														
人工数	人	4.00	4.00	4.00	4.00																																																																														
再任用職員人件費	千円	6,560	6,560	6,560	6,656																																																																														
人工数	人	1.60	1.60	1.60	1.60																																																																														
総事業費	千円	368,594	521,034	514,855	143,049																																																																														
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による																																																																																			
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）		5		②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3																																																																												
	判断理由		施設の維持管理、運営に要する経費等であるため、当該事業の優先度は1番目程度である。		判断理由		大規模改修工事が終了し施設の耐震性、設備機器の安定性が向上し、施設利用者の安全性が確保された。休館期間における公民館代替施設の確保、市立会館等への紹介等施設利用者への対応を図った。																																																																												
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4		④効率性（効率的に実施できたか）		3																																																																												
	判断理由		改修工事の事業費等は防衛補助事業を活用し、効果的に事業を実施し安全・安心な設備環境が整備された。機械器具等修繕として、フルコンサート用ピアノ2台のオーバーホールを行い音響設備が整備された。		判断理由		施設維持管理経費の保守委託経費については、施設安全性を確保するため、17項目で効率的、計画的に実施している。施設設備の修繕については、改修工事と合わせて実施するなど、経費の削減に努力した。また、限られた経費の中で優先順位を設定し、補修、維持管理等実施している。																																																																												
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		B		現状における課題		平成27年度予算編成における具体的な取組																																																																												
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し				○経費削減の中で施設修繕費等は、設備の経年劣化により増加している。 ○保守点検委託費等は施設管理上安全性に係る経費のため、コスト改善は難しい。 ○他の管理運営方法等の見直しを図る場合には、併設の公民館との相互利用を考慮した施設のため、課題等検討を要する。		○施設のPR等を積極的に図り、ホールの利用率向上、財源確保の方法について検討する。 ○経年劣化による建物外壁改修・屋上防水・設備機器改修等、未改修箇所について実施計画の中で検討していく。 ○平成26年度から市民会館のネーミングライツ制度を導入し、平成28年度まで3年間の財源が確保された。																																																																												
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し																																																																																		
	C 抜本的な見直し																																																																																		
	D 縮小・廃止																																																																																		
E 現状を維持																																																																																			

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	文化事業協会補助事業		部	生涯学習部	課長	辻 みえ子					
			課	市民会館・公民館							
			係	管理係	電話	内線2277					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あぎしま（教育・文化・スポーツの充実）	昭島市文化事業協会補助金交付要綱、文化芸術振興基本法、昭島市民会館条例、昭島市民会館条例施行規則、昭島市文化芸術振興基本条例							
大項目	03	「あぎしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
中項目	03	文化・芸術	法令による事業実施義務								
個別計画（年度）						<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり					
予算科目コード	款	10	項	04	目	06	細目	003	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民					市民を対象に、身近なところで優れた芸術文化に触れ、気軽に鑑賞できるような多様な芸術鑑賞の機会を提供する。					
	実施内容					実績・成果					
	○市民会館条例施行規則第16条の規定に基づき指定された団体である、昭島市民会館文化事業協会に補助金を交付し、市民文化の向上に寄与するため、市民会館大ホール及び公民館小ホール等を利用して、公益的な文化芸術事業を実施する。					平成25年度の自主事業は、平成25年1月から9月までの市民会館改修工事による休館のため、後半6ヶ月間で9回の実施となった。入場者数は、小ホールも含め延べ6,499人であり、6ヵ月間の期間であるが効果的に事業が実施された。					
	○大ホール自主事業3回、大ホール共催事業4回、新能公演1回、小ホールジャズライブ1回、合計9回の事業を実施した。										
	コスト		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	16,551	15,400	15,400	20,400				
	財源内訳	国庫支出金		千円							
		都支出金		千円							
地方債		千円									
その他特定財源		千円									
一般財源		千円	16,551	15,400	15,400	20,400					
一般職員人件費		千円	8,200	8,200	8,200	8,160					
人工数		人	1.00	1.00	1.00	1.00					
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	24,751	23,600	23,600	28,560					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由					判断理由					
	市民へ文化芸術鑑賞の機会を提供する目的の事業であり、当該事業の優先度は3番目程度である。					改修工事により、平成25年9月末から6ヶ月間の限られた期間の中で事業実施となった。鑑賞者及び文化事業協会理事会等において実施内容等も概ね好評であったが、大雪等の影響もあり、集客率が伸び悩んだ事業もあった。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			4		
判断理由					判断理由						
開催事業の選定として、幅広い年齢層へ対応する内容を目標としており、事業内容は偏らないよう創意工夫し実施している。					文化事業協会専任職員1名が経理事務、事業の調整等を行い、短い期間の中で効率的に事業を実施できた。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		A		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		○大ホール収容規模、年間事業回数等限られているため、開催事業の選定がむずかしい。 ○専任職員を補佐する経理事務等担当を必要とする。 ○チケット販売方法等を検討する余地がある。			○平成26年度は、市制施行60周年記念事業のため、予算300万円を計上したが、平成27年度予算は現状維持を目標とする。					

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署										
	公民館運営審議会事務		部	生涯学習部	課長	辻 みえ子							
			課	市民会館・公民館									
			係	事業係	電話	内線2277							
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>							
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			社会教育法 市公民館運営審議会条例 市特別職報酬条例							
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			法令による事業実施義務							
中項目	01	生涯学習											
個別計画（年度）	昭島市教育振興基本計画				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり								
予算科目コード	款	10	項	04	目	07	細目	002	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり		
事務事業概要	目的												
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>							
	市民					調査審議により、利用する市民や団体へ良好な学習環境を醸成する効果や市民ニーズの高い講座等事業の提供を図る効果がある。							
	実施内容					実績・成果							
	○公民館運営に関し必要な事項を審議。 ○公民館各種事業の企画実施について必要な事項を調査審議。 ○公民館の課題について検討 ○諮問を受け答申を作成。 ○定例会月1回開催のほか、東京都公民館連絡協議会研修会への参加					定例会を毎月1回開催のほか、東京都公民館研究大会や各種研修会に参加した。館長より諮問「公民館内諸設備・備品等の有効利用について」を受け、答申を協議した。定例会では随時提案等があり、公民館事業をより市民ニーズの高いものへ導いている。							
	コスト												
	直接事業費		（単位）	千円	24決算	1,368	25当初予算	1,445	25決算	1,377	26当初予算	1,436	備考<特財名称等>
	財源内訳	国庫支出金		千円									
		都支出金		千円									
		地方債		千円									
その他特定財源		千円											
一般財源		千円		1,368	1,445	1,377	1,436						
一般職員人件費		千円		820	820	820	816						
人工数		人		0.10	0.10	0.10	0.10						
再任用職員人件費		千円											
人工数		人											
総事業費		千円		2,188	2,265	2,197	2,252						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				2		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3		
	判断理由					判断理由							
	同審議会の提案等により公民館事業をより市民ニーズの高い事業環境へ醸成している。					社会教育法に基づき設置され、民意を反映する機関として機能しているため、他機関では難しく、妥当性がある。法的には館長の諮問機関。							
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3		④効率性（効率的に実施できたか）				3		
判断理由					判断理由								
公民館運営審議会の提案等により、市民ニーズの高い事業環境へ醸成する成果が概ねある。					コストはあまり変わらず、また調査審議や提言等の量的内容も横ばいである。								
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題				平成27年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		E		○委員の多くが任期（2年）で代わり、適切な調査審議までに時間を要している。 ○多岐にわたる提言等をいかに事業へ導入していくかが課題となっている。				○当該事務事業は民意を反映する審議会に係る事務であり、既に最低限度の額であり現状維持を予定している。				

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	公民館管理運営		部	生涯学習部	課長	辻 みえ子					
			課	市民会館・公民館							
			係	事業係	電話	内線2277					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			社会教育法 昭島市公民館条例					
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			同施行規則					
中項目	01	生涯学習			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）	昭島市教育振興基本計画				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり						
予算科目コード	款	10	項	04	目	07	細目	003	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民、公民館登録団体					市民に実際生活に即する教育、学術及び文化に関する学習の場を提供することで、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。					
	実施内容					実績・成果					
	○市民の集団活動の拠点、学び、文化創造の場としての施設の提供					公民館で活動する団体が約370あり、市民活動の拠点となっている。施設利用率（利用日）も88%と市民ニーズが高い。					
	○自由に集える拠点の場として新聞、書籍等閲覧の提供					施設利用人員総数：61,426人					
	○印刷機の設置					公民館使用料収入：780,090円					
	○複写機（有料）の設置					複写機利用料収入：93,680円					
	○社会教育教材の提供										
	コスト										
		(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>				
直接事業費		千円	1,533	5,106	4,764	1,512	その他特財 ・公民館使用料 ・複写機利用料 ・市民総合賠償保障 保険金				
財源内訳	国庫支出金	千円									
	都支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他特定財源	千円	1,125	1,120	889	1,512					
	一般財源	千円	408	3,986	3,875	0					
一般職員人件費	千円	3,280	3,280	3,280	3,264						
人工数	人	0.40	0.40	0.40	0.40						
再任用職員人件費	千円										
人工数	人										
総事業費	千円	4,813	8,386	8,044	4,776						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	社会教育法第3条に、地方公共団体はあらゆる機会にあらゆる場所を利用して市民が実際生活に即する学習を行うのに必要な施設の設置や運営を行うことの奨励がある。また、平成26年2月の市民意識調査において市民活動のために市が力を入れるべきことに「活動場所の提供」の割合は29.9%あることも勘案し判断している。				判断理由	公民館と市民会館の併設館で、合理的に効率の良い事業運営をしているので、現状の方法が妥当である。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由	半期は施設改修工事で休館したが、再開後も施設利用者数や利用率の高さなどから成果は概ねあり達成度も高い。				判断理由	老朽化した備品の入れ替えにコストは増加したが、再開後の利用人員も多く効率的に実施できた。				
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	○経年劣化する備品等の入れ替え ○小ホール等の施設利用率の高さの反面、予約が取りにくい状況にある。			○当該事務事業は、消耗品等が既に最低限度の額であり、毎年精査はしているが、現状並みの予算計上を行いたい。						

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署								
	学級・講座等事業		部	生涯学習部	課長	辻 みえ子					
			課	市民会館・公民館							
			係	事業係	電話	内線2277					
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			社会教育法 教育振興基本計画					
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			市公民館条例 同条例施行規則					
中項目	01	生涯学習			法令による事業実施義務						
個別計画（年度）	昭島市教育振興基本計画				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり						
予算科目コード	款	10	項	04	目	07	細目	004	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input checked="" type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的										
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民					市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の講座等事業を実施し、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。					
	実施内容					実績・成果					
	○市民講座 6事業 25回 ○市民大学2事業59回（財政、福祉、歴史等） ○シニア講座3事業7回 ○地域公民館事業3事業7回 ○交流発表鑑賞のつどい1事業1回 ○自主企画事業3事業15回 ○共催事業1事業1回 ○青年学級（障害者）1事業21回					市民講座等20事業を実施。高齢者向け事業、保育付講座、障害者学級では、一部都補助金の対象となり、首長部局を通じ申請した。また、これまで市民大学修了生や各種講座の受講生等が市の審議会委員として活動したり、福祉や環境などの地域活動を行うなど成果がある。					
	コスト										
			(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	3,076	3,355	2,537	3,483	都支出金			
	財源内訳	国庫支出金		千円				・障害者施策推進区			
		都支出金		千円	507	648	540	694	市町村包括補助金		
地方債		千円					・高齢社会対策区市町村包括補助金				
その他特定財源		千円	170	174	187	658	・子ども家庭支援区市町村包括補助金				
一般財源		千円	2,399	2,533	1,810	2,131	・その他特財				
一般職員人件費		千円	31,160	31,160	31,160	31,008	・公民館使用料				
人工数		人	3.80	3.80	3.80	3.80	・各種講習会受講料				
再任用職員人件費		千円									
人工数		人									
総事業費		千円	34,236	34,515	33,697	34,491					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4		②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由					判断理由					
	現代社会は様々な課題や新しい情報が飛び交い、生涯のいつでも学べる教育環境を醸成することが大切で、各種講座等事業を開設する必要がある。これらの学びにより家庭や地域社会の教育力の向上や社会福祉の増進へ導くことになる。優先度は2番目であるが1番目と僅差である。					講座等事業の実施は職員が企画運営の多くを担っているが、市民企画事業や協働事業を取り入れ住民参加型の地域と歩む公民館としている。公民館は、社会的課題講座や市民協働事業が多くなる中で、コーディネート能力が求められ、地域の行政や住民を良く知る市職員の存在が不可欠で実施方法は妥当である。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4		④効率性（効率的に実施できたか）			4		
判断理由					判断理由						
年間を通じ社会的課題講座や趣向を変えた事業にも取り組み、学習の機会提供及び文化の振興を図り達成度は高い。					半年の休館中は、地域公民館事業として市立会館で平年とほぼ変わらない事業を実施したが、コストは減少し効率的に実施できた。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）		E		現状における課題			平成27年度予算編成における具体的な取組			
					○限られた予算で講師を選択し多くの講座等事業を企画する難しさがある。 ○市立会館等へ出向いた講座も実施しているが、遠方の市民には気軽に参加とまでいえない。 ○市民企画事業や協働事業では、実施までに多くの協議時間を費やす。 ○主催講座等の広報についてさらに検討する必要がある。			○各種講座等事業の市民ニーズや効果・意義を精査した予算編成に努める。			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し										
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し										
	C 抜本的な見直し										
D 縮小・廃止											
E 現状を維持											

平成26年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成25年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署										
	市民文化祭事業		部	生涯学習部	課長	辻 みえ子							
			課	市民会館・公民館									
			係	事業係	電話	内線2277							
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>							
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			文化芸術振興基本法 社会教育法 市文化芸術振興条例 市公民館条例 同条例施行規則 市民文化祭開催要項							
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）			法令による事業実施義務							
中項目	01	生涯学習											
個別計画（年度）	昭島市教育振興基本計画				<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり								
予算科目コード	款	10	項	04	目	07	細目	005	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり		
事務事業概要	目的												
	<対象は誰、何か>					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>							
	市民、市民団体					文化芸術の振興は、心豊かな活力ある社会の形成に重要な意義がある。市民に日頃の文化・芸術活動の成果を発表できる機会を提供し、生きがいづくりや市民の交流を図る。							
	実施内容					実績・成果							
	○10月11日～11月3日（15日間） ○主催：昭島市・昭島市教育委員会 主管：昭島市文化祭運営委員会 ○参加：28部門（80団体） ○演奏・演芸（民謡、合唱、人形劇、朗読、大正琴、うたごえ、歌謡、邦楽、芸能、ヨガ仏、音楽祭、演劇）○展示（美術展、書道展、科学展、華道展、手工芸展、俳句展、平和展、山野草展、盆栽展、短歌展、菊花展、写真展、陶芸展）○対局ほか（将棋、囲碁、茶会）					参加者：延14,480名 出展、出演者等：28部門（80団体）							
	コスト	(単位)	24決算	25当初予算	25決算	26当初予算	備考<特財名称等>						
	直接事業費	千円	2,593	2,600	2,568	2,600							
	財源内訳	国庫支出金	千円										
		都支出金	千円										
		地方債	千円										
その他特定財源		千円											
一般財源	千円	2,593	2,600	2,568	2,600								
一般職員人件費	千円	5,740	5,740	5,740	5,712								
人工数	人	0.70	0.70	0.70	0.70								
再任用職員人件費	千円												
人工数	人												
総事業費	千円	8,333	8,340	8,308	8,312								
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3			
	判断理由	文化祭は、市民の日頃の文化・芸術活動の成果を発表する場として、また市民相互の交流を図る機会として、多くの市民に親しまれ、ニーズもあり、文化活動の振興と地域文化の向上発展など活力ある社会形成に必要である。				判断理由	主催は市及び教育委員会であるが、市民が主体の事業であり、参加団体から選出された委員で構成される文化祭運営委員会へ運営委託している。開催まで会議を重ね、自治会等へのポスターや日程表の配布もPRを兼ね各委員が直接配布している。前日に開催されるオープニング						
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4	④効率性（効率的に実施できたか）				3			
	判断理由	参加80団体及び参加者14,480人（1日平均965人）があり多くの市民に親しまれている。出展、出演者は日頃の成果を発表でき好評で事業の達成度は高い。				判断理由	毎年、楽しみにしている市民も多いが、台風などの天候不順の影響から、参加者が前年よりやや減少した。コストは1%減少と前年とほぼ同額であり、効率的に実施できた。						
課題と今後の方向性	今後の方向性（以下より選択）	E	現状における課題				平成26年度予算編成における具体的な取組						
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し		○委託事業であるが、事務局として担当職員の役割や負担が大きい。				○総合基本計画の参加者数が目標値に近づいているが、文化芸術の振興に寄与できる当事業予算は現状維持として取り組む。						
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し		○現在、事務局は公民館であるが、「昭島市文化芸術の振興に関する基本方針」に基づき、文化を推進する体制が整備されれば市民文化祭もより広がりのあるものになると思われる。										
	C 抜本的な見直し												
	D 縮小・廃止												
E 現状を維持													